



2025年度

栄橋

福山市神辺町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=53.7m 橋長 L=52.0m 有効幅員 W=4.0m ひび割れ補修工 L=36.6m 断面修復工 A=57m ² 塗替塗装工 A=280m ² 表面含浸工 A=405m ² 支承補修工 一式 薄層舗装工 A=208m ² 防護柵工 L=102.2m 排水施設工 L=103.9m 仮設工 一式	

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（栄橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和6年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務の緩和

- 現場代理人の工事現場への常駐義務緩和については、一定の要件を満たすと発注者が認める場合（※）とします。
- （※）一定の要件を満たすと発注者が認める場合とは発注者との連絡体制を確保した上で、次の(1)から(4)のいずれかの条件に該当する場合です。
- （必要に応じ、工事打合せ簿で協議により承諾を受けていること。）
- (1) 現場作業着手前までの期間
 - (2) 工事の施工が一定期間、全面的に行われていない期間
 - (3) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
 - (4) 工事現場が完了した後、竣工検査までの期間

第6節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第7節 工事に着手すべき期日について（特別な事情がある場合）

本工事は河川管理者との協議により、2025年（令和7年）6月16日から2025年（令和7年）10月20日の間、本体工事及び仮設工事を施工してはならない。
受注者は、この期間終了日の翌日から30日以内に工事着手しなければならない。

第8節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 鋼部材の既設塗料に含まれる物質

- ・本橋の鋼部材に使用されている塗料には下表に示す物質が含有していることが事前調査で判明している。

物質名	: 含有量
鉛	: 0.04mg/kg
六価クロム	: 0.05mg/kg
P C B	: 0.15mg/kg

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 熱中症対策

・本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。

1 工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13 日間、年末年始6 日間（12月29 日～1月3 日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く3日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。

2 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。

3 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。

4 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督員に提出すること。

5 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督員と協議するものとする。

6 積算方法は次のとおりとする。

（1）補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2

（2）補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

7 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることが出来る。

8 検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第5節 任意仮設

・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

・内容：足場工一式

第6節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）

が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し

（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第7節 産業廃棄物（既設塗料の剥離やかき落とし作業で発生する廃棄物）PCB含有量及び鉛溶出量及び六価クロム溶出量基準値以下

- ・産業廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
 - ・塗料廃棄物は鋼製のドラム缶またはペール管に密閉して保管し、速やかに処分するものとする。また、使用した作業服等の保護具も同様に保管して処分するものとする。
- なお、本工事における作業服等の防護具の購入・処分の積上げ数量は、対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な数量を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による防護具の購入・処分の積上げ数量の増加に対する変更は行わない。
- ・塗料廃棄物の処理に要する費用（運搬費を含む処理費）は、廃棄物処理法に基づき環境大臣が認可、または都道府県知事等が許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と処理費の合計が最も経済的になる下記住所の施設を見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き、塗料廃棄物の処理に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
 - ・受入施設が求める各成分の溶出試験について次のとおり実施している。
- | 物質名 | 溶出量 |
|----------|------------|
| 鉛又はその化合物 | : 0.04mg/L |
| 六価クロム | : 0.05mg/L |
- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第9節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和6年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象工事です。詳細については、別紙（土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

土木関連工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 福山市週休2日適用工事の実施に係る用語の定義は次の各号に定めるものとする。
 - (1) 「週休2日」とは、次のアからウまでに定める区分に応じ、各条件を満たすものをいう。
 - ア 「完全週休2日(土日)」とは、対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。
 - イ 「月単位の週休2日」とは、対象期間内の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。
 - ウ 「通期の週休2日」とは、対象期間内において現場閉所等の日数が4週8休以上のものをいう。
 - (2) 「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (3) 「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (4) 「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
 - (5) 「発注者指定型」とは、週休2日適用工事として発注者が指定するものをいう。
 - (6) 「受注者希望型」とは、受注者が工事着手前に、発注者に対して週休2日適用工事として取り組む旨を申し出たものをいう。
- 2 週休2日は、次のアからウまでに定める区分に応じ、各号に定めるところにより実施するものとする。
 - ア 完全週休2日(土日)
 - 1 (1)アに定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。
 - イ 月単位の週休2日
 - 1 (1)イに定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該

月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

ウ 通期の週休2日

1 (1)ウに定めるところにより実施するものとする。

- 3 受注者は、受注した工事が発注者指定型の場合は、工事着手までに監督員に対し、実施する週休2日の区分について申し出るとともに、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。
- 4 受注者は、受注した工事が受注者希望型の場合は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は計画表を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。
- 5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。
 - (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
 - (2) その他工程の都合上やむを得ない場合
- 6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。
- 7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。
- 8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。
- 9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。
- 10 発注者指定型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、完全週休2日（土日）を達成したと認めた場合は、完全週休2日（土日）の補正係数を適用して変更契約し、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

月単位の週休2日の経費を見込んで発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成できなかった場合は、月単位の週休2日の補正係数を除いて変更契約を行うものとする。

- 11 受注者希望型の工事の経費の補正は次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 土木工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、達成した週休2日の区分に応じて完全週休2日（土日）（港湾工事を除く。）又は月単位の週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

(2) 港湾工事

週休2日の経費は見込まず発注し、現場閉所等の実績に基づき、月単位の週休2日を達成したと認めるとき、当該週休2日の補正係数を適用して変更契約を行うものとする。

12 土木工事（港湾工事を含む。）に係る経費の補正については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数、別表土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）及び土木工事標準単価の補正係数の表に定める補正係数を用いるものとする。ただし、港湾工事（港湾土木請負工事積算基準を適用した工事）については、月単位の週休2日を達成した場合に限り、第2号に定める補正係数及び別表港湾工事市場単価の補正係数の表に定める補正係数により、経費の補正を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.02
ウ 現場管理費	1.03

(2) 月単位の週休2日

ア 労務費	1.02
イ 共通仮設費	1.01（港湾工事を除く。）
ウ 共通仮設費	1.02（港湾工事に限る。）
エ 現場管理費	1.02（港湾工事を除く。）
オ 現場管理費	1.03（港湾工事に限る。）

13 12(1)ア及び12(2)アに規定する労務費に係る補正対象は、公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員、機械設備据付工及び港湾請負工事積算基準に係る標準賃金（船舶製作工を除く。）とする。

14 土木工事については、完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したとき、港湾工事については、月単位の週休2日を達成したときに工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

15 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

16 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

別表

土木工事市場単価の補正係数（港湾工事を除く。）

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
鉄筋工		1.02	1.02
ガス圧接工		1.01	1.01
インターロッキングブロック工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.00
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.02	1.02
	撤去	1.02	1.02
防護柵設置工（落石防護柵）		1.01	1.01
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.01
道路標識設置工	設置	1.00	1.00
	撤去・移設	1.01	1.01
道路付属物設置工	設置	1.01	1.01
	撤去	1.02	1.02
法面工		1.01	1.01
吹付砕工		1.01	1.01
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.01
道路植栽工		1.02	1.02
公園植栽工		1.02	1.02
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.01	1.01
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.02	1.02
橋面防水工		1.01	1.01
薄層カラー舗装工		1.00	1.00
グルーピング工		1.00	1.00
軟弱地盤処理工		1.01	1.01
コンクリート表面処理工 （ウォータージェット工）		1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
リブ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.01
砂基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
碎石基礎工	人力施工	1.02	1.02
	機械施工	1.02	1.02
組立マンホール設置工		1.01	1.01
小型マンホール工		1.00	1.00
取付管及びます設置工	ます設置工	1.00	1.00
	取付管布設及 び支管取付工	1.01	1.01

港湾工事市場単価の補正係数

名称	補正係数
	月単位 の週休2日
底面工	1.01
マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
支保工	1.02
足場工	1.01
鉄筋工	1.02
吊鉄筋工	1.02
型枠工	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
止水板工	1.02
上蓋工	1.02
伸縮目地工	1.01
係船柱取付	1.02
防舷材取付	1.02
車止・縁金物取付	1.02
係船柱撤去	1.02
防舷材撤去	1.02
車止撤去	1.02
電気防食取付	1.02
防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
ペトロラタム被覆	1.02
現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
かき落とし工	1.02
汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
汚濁防止枠設置・撤去	1.01
灯浮標設置・撤去	1.01
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
異形ブロック製作型枠工	1.02
異形ブロック製作コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作給熱養生	1.01

土木工事標準単価の補正係数

名称	区分	補正係数	
		月単位 の週休２日	完全 週休２日 (土日)
区画線工		1.02	1.02
高視認性区画線工		1.02	1.02
橋梁塗装工		1.01	1.01
構造物とりこわし工	機械	1.01	1.01
	人力	1.02	1.02
コンクリートブロック積工		1.02	1.02
排水構造物工		1.02	1.02

(1)

ご協力をお願いします	
週休2日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

(2)

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
(A3サイズ以上)

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-07.06.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工（低圧注入工法） 補修延べ延長26m		構造物			V0001 00
	1	構造物			単第0 -0001 表
充てん工法 【材料種類】		構造物			Y1G03240401 レベル4
ひび割れ補修工（充てん工法） 補修延べ延長20m未満の場合		構造物			S1020031 00
	1	構造物			単第0 -0003 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】		構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積2.39m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0004 表
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)	2	m3			SPK24040151 00 単第0 -0005 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	6	t			T9005 00
塗替塗装工	1	式			Y1G032501 レベル3
塗膜除去工 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101レベル4
塗膜除去工 塗膜剥離剤 MT-BERON工法相当 1回塗り	260	m2			F0000000020 00
塗膜剥離剤 MT-BERON57相当品	141	kg			F0000000021 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜除去工 廃材の回収・積込	260	m2			F0000000022 00
ペール缶 天蓋取り外し式ハンドタイプ フタ・バンド付 20L	50	個			F0000000028 00
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03271601レベル4
土砂等運搬 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離23.0km以下(14.5km超)	0.2	m3			SPK24040002 00 単第0 -0006 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
廃塗膜処分費（汚泥）	0.2	m3			F0000000029 00
素地調整 【素地調整種類】		m2			Y1G03250101レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 素地調整	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
下塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03250102レベル4
塗替塗装 下塗り塗装 防食下地	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
塗替塗装 下塗り塗装	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表
中塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03250103レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗 【塗装種別,塗装箇所,塗装回数】		m2			Y1G03250104レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	260	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
表面含浸工	1	式			Y1G032406 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工		橋			Y1G03240601レベル4
表面含浸工 下地処理（洗浄・清掃） 高所作業車無	405	m2			F0000000011 00
表面含浸工 含浸材塗布 けい酸塩系表面保護材（スーパ 高所作業車無 1橋当り100m2以上	405	m2			V0002 00 単第0 -0013 表
反応促進工 反応促進剤塗布 ストレングス剤（カルシウ 高所作業車無 1橋当り100m2以上	405	m2			V0003 00 単第0 -0014 表
アンカー設置工・高力ボルト取付工	1	式			Y1G032102 レベル3
支承補修工 【アンカーボルト規格】		本			Y1G03210203レベル4
アンカー設置工	1	式			V0007 00 単第0 -0015 表
高力ボルト取付工 【アンカーボルト規格】		本			Y1G03210203レベル4
高力ボルト本締工 極小規模	2	本			V0008 00 単第0 -0016 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋面補修工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
薄層舗装工 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211レベル4
耐摩耗型複合薄層遮水性舗装 スーパーロメンパッチDN工法相当 1橋当り70m2以上	208	m2			V0005 00 単第0 -0017 表
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】		m			Y1G03040201レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			SPK24040306 00 単第0 -0018 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】		m2			Y1G03040202レベル4
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	6	m2			SPK24040305 00 単第0 -0019 表
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03040205レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	0.3	m3			SPK24040151 00 単第0 -0020 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03040206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	0.7	t			T9006 00
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03040211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	6	m2			SPK24040241 00 単第0 -0021 表
伸縮装置取替工 【工種,伸縮装置本体型式】 【仕様,伸縮装置本体材料の計上】		m			Y1G03210103レベル4
伸縮装置撤去工 鋼製伸縮装置	16	m			V0009 00 単第0 -0022 表
伸縮装置設置工 簡易補修 ゴム劣化取替工法 (SMジョイント 1橋当り20m未満	1	式			V0010 00 単第0 -0023 表
伸縮装置工 (地覆部) 簡易補修 ゴム化アスファルト系目地材相当 1橋当り10m未満	1	式			V0011 00 単第0 -0024 表

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵工	1	式			Y1G030701 レベル3
防護柵補修工 【Gr規格,施工規模,曲線部補正】		m			Y1G03070101レベル4
防護柵設置工(Gr) レール撤去 路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)	97	m			SS000129 00 単第0 -0025 表
防護柵設置工(Gr) レール設置 路側用_A・B・C種 手間のみ	97	m			SS000125 00 単第0 -0026 表
標準型ガードレール部材(直ビーム) C(2.3×350×4330) 塗装(白色)	17	枚			T2140061 00
標準型ガードレール部材(直ビーム) C(2.3×350×2330) 塗装(白色)	17	枚			T2140063 00
防護柵取替工 笠木撤去・設置 施工延長50m以上	1	式			V0012 00 単第0 -0027 表
防護柵取替工 ガードレール支柱撤去・設置 ベースプレート式	1	式			V0013 00 単第0 -0028 表
防護柵取替工 ガードレール袖ビーム (ゴム製)	1	式			V0014 00 単第0 -0029 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整（防護柵） 【調整工種別】		m2			Y1G03250201レベル4
素地調整 防護柵類	20	m2			SPK24040311 00 単第0 -0030 表
中塗（防護柵） 【塗料種別,塗装箇所,塗替回数】		m2			Y1G03250203レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	20	m2			SPK24040312 00 単第0 -0031 表
上塗（防護柵） 【塗料種別,塗装箇所,塗替回数】		m2			Y1G03250204レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	20	m2			SPK24040312 00 単第0 -0032 表
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03271603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離8.5km以下(6.0km超)	1.4	t			SPK24040410 00 単第0 -0033 表
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鉄屑（ヘビーH3）					F0000000062 00
	1.4	t			
排水施設工					Y1G032103 レベル3
	1	式			
水切り工 【管規格】					Y1G03210302レベル4
		m			
水切り工 橋梁床版用後付け型水切り 1橋当り20m以上					V0006 00
	104	m			単第0 -0034 表
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			
ばく露防止対策工					Y1G032814 レベル3
	1	式			
防護服等					Y1G03281403レベル4
		式			
使い捨て化学防護服 化学防護服マイクロガード 2500PLUS XLサイズ					F0000000025 00
	80	着			
化学防護手袋 ニトリル 37-176 Lサイズ 17092					F0000000026 00
	80	双			

本工事費 内訳表

頁0 -0012

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
シューズカバー SC2000L ロングタイプ フリーサイズ	80	足			F0000000027 00
足場工	1	式			Y1G032816 レベル3
足場 【作業区分,基礎形式,高さ】		m			Y1G03281602レベル4
足場工 上部工部	1	式			V0015 00 単第0 -0035 表
足場工 橋脚部	1	式			V0016 00 単第0 -0039 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	42	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費 内訳表

頁0 -0013

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
安全費					Z0009
安全費					YZZ09 レベル2
安全費	1	式			YZZ09001 レベル3
呼吸用保護具等費用	1	式			YZZ09001002レベル4
全面マスク 電動ファン付呼吸用保護具		式			F0000000023 00
	5	台			F0000000024 00
呼吸用保護フィルター 全面マスクフィルター V3	80	個			
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
※※共通仮設費計※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0014

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※工事費計※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0015

[illegible]

S=1 : 100

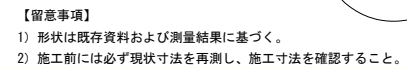
工事延長 L=53.7m



工事延長 L=53.7m



⇒ 終点側



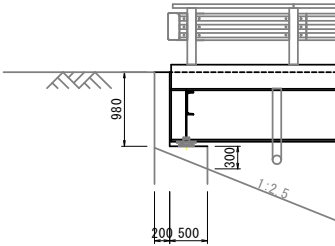
※A1→A3に50%縮小印刷

工 事 名	橋梁修繕工事（米橋）		
図 面 名	補修一般図（その１）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

令和7年度
国補

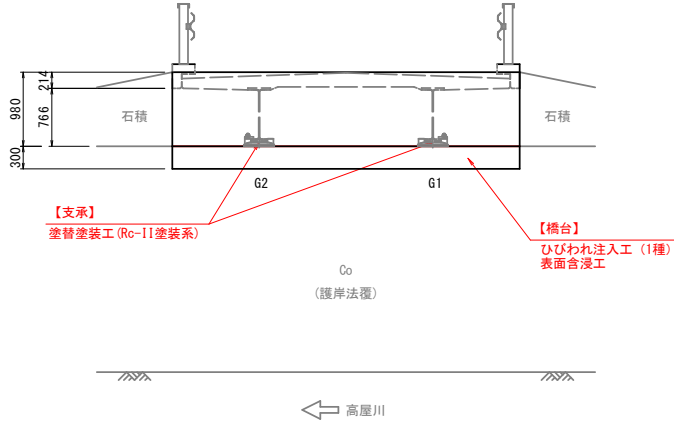
補修一般図（その2）

下流側 側面図

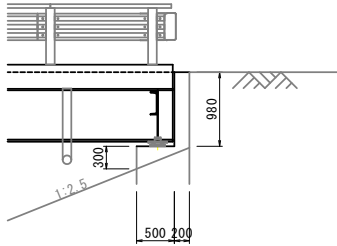


A1橋台 S=1:50

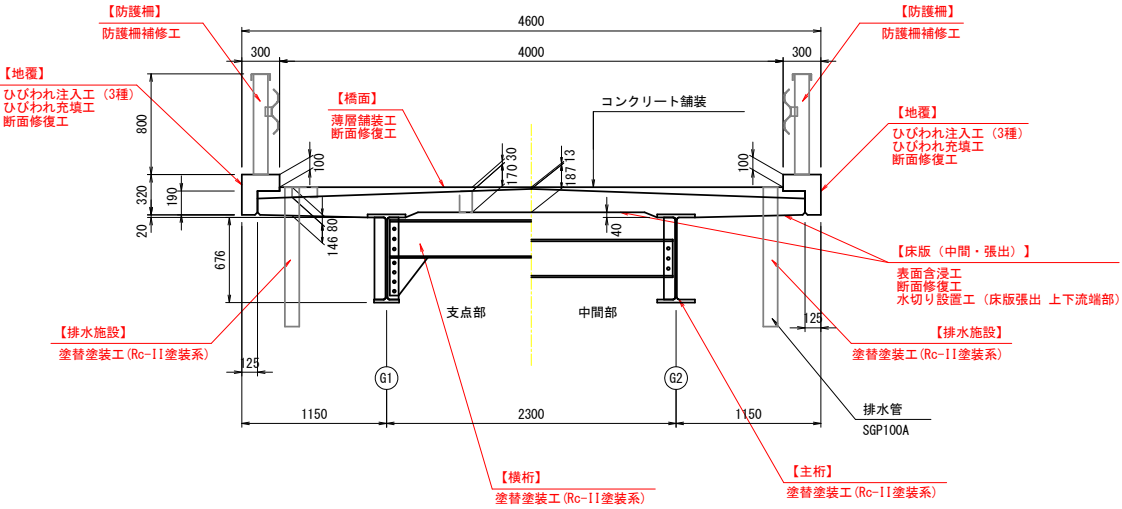
正面図



上流側 側面図



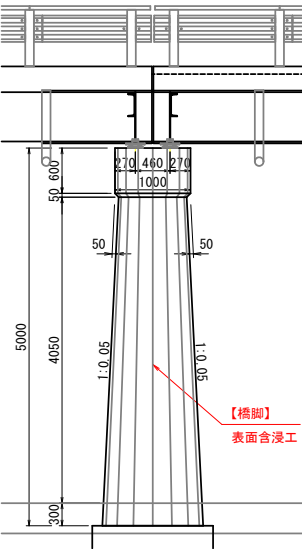
標準断面図 S=1:30



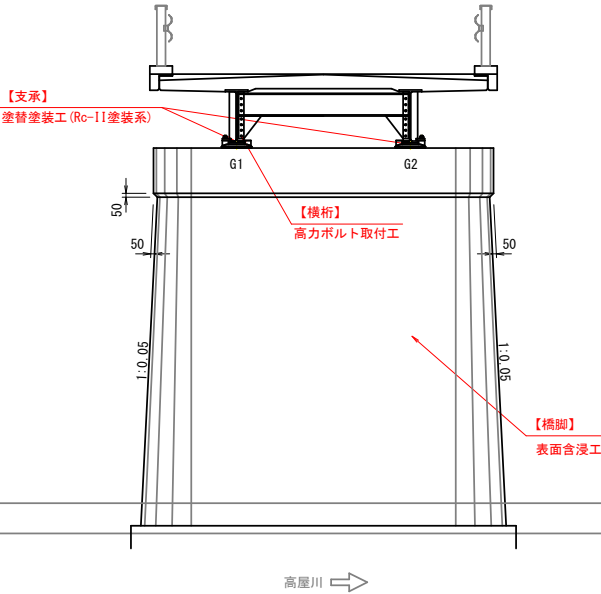
P1橋脚 S=1:50

正面図

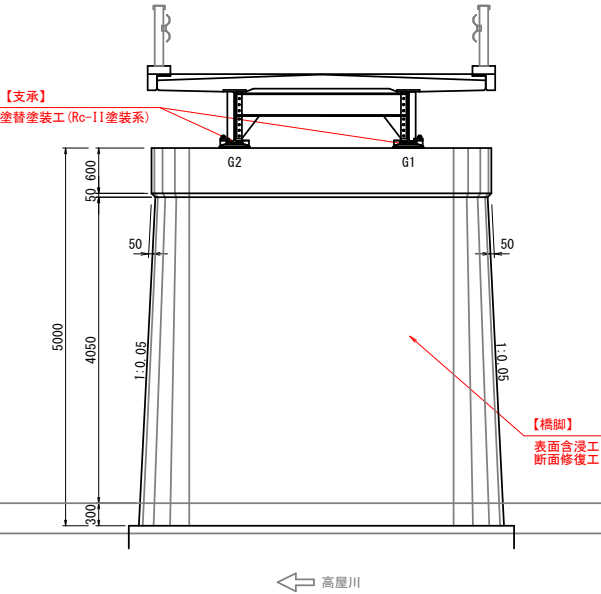
上流側 側面図



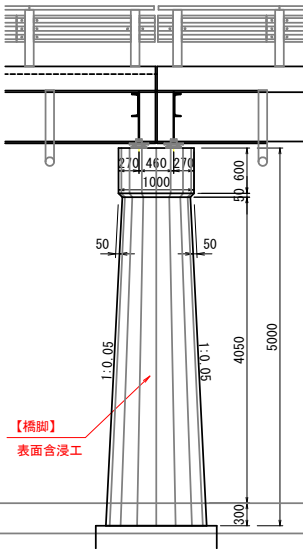
A1側



A2側



下流側 側面図



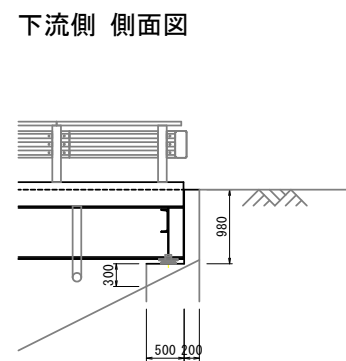
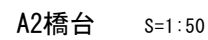
※A1→A3に50%縮小印刷



- 【留意事項】
- 1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	補修一般図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	3 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

P2橋脚 S=1:50



部 材		工 法 概 要	材 料
橋 面	防護柵	防護柵補修工 (支柱塗装工・支柱・笠木取替工) (支柱取替工・袖ビーム取替工)	3種Bケレン、ビーム・笠木 BPL付支柱、ゴム製
	地盤	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂3種
		ひびわれ充填工	シーラント系
		断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	舗装	舗装打替工 (橋台背面取付道路部)	密粒度As (20)t=50
		断面修復工	ポリマーセメントモルタル
		薄層舗装工 (橋面)	耐摩耗型複合薄層遮水性舗装
	伸縮装置	伸縮装置取替工	ゴム劣化取替工
目地補修工		ゴム化アスファルト系	
排水施設	塗替塗装工	Rc-Ⅱ塗装系 (塗膜剥離剤)	
上 部 工	主桁	塗替塗装工	Rc-Ⅱ塗装系 (塗膜剥離剤)
	横桁	塗替塗装工	Rc-Ⅱ塗装系 (塗膜剥離剤)
		高力ボルト取付工	F10T
		断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	中間床版	表面含浸工	けい酸塩系含浸材
		断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	張出床版	表面含浸工	けい酸塩系含浸材
		水切り設置工	合成ゴム製
支 承 部		支 承	塗替塗装工 アンカー設置工
下 部 工	橋台	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂1種
		表面含浸工	けい酸塩系含浸材
	橋脚	ひびわれ注入工	エポキシ樹脂1種
		ひびわれ充填工	シーラント系
		表面含浸工	けい酸塩系含浸材

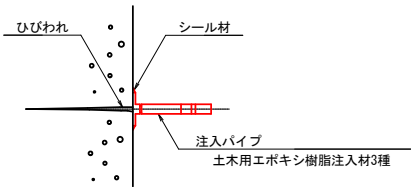
工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	補修一般図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	4 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修標準図

ひびわれ補修工

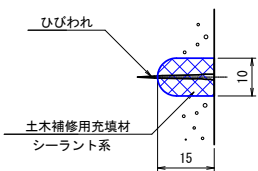
ひびわれ注入工

(エポキシ樹脂3種注入)
※下部工のみ1種とする



ひびわれ充填工

(シーラント系)

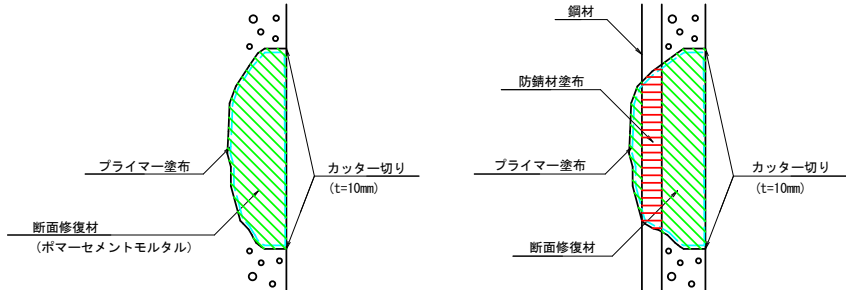


断面修復工

(断面修復材：ポリマーセメントモルタル・左官工法)

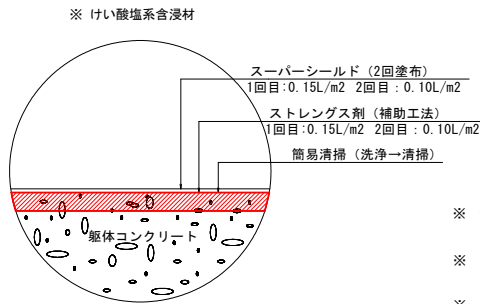
(防錆処理なしの場合)

(防錆処理ありの場合)



表面含浸工

(スーパーシールド工法相当)



※ 含浸工はスーパーシールドを参考に示すが、別途製品を使用する場合は同等の機能効果を有する製品を使用し、その仕様に従順すること。
※ スーパーシールド塗布はコンクリート面を湿潤状態にして行い、塗布後も含浸を促進するため散水養生すること。
※ 簡易清掃は基本的に散水や高圧洗浄処理で洗い流す程度であり、著しい凹凸や付着物等の含浸性を阻害する要因となるものについてはケレンによって除去・清掃すること。

※ 施工手順

- 1 表面処理
- 2 注入プレート貼付
- 3 シーラ材塗布
- 4 注 入
- 5 養 生
- 6 仕上げ

※ 注

1. 注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上とする。
2. ひびわれ注入深さは50mmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
3. 注入パイプの間隔は、25cm程度とする。
4. 注入材はエポキシ樹脂系を使用する。
5. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。

※ 施工手順

- 1 ひび割れ部のU字カット
- 2 清掃
- 3 プライマー塗布
- (4 バックアップ材挿入)
- 5 充てん材を充てん
- 6 養 生

※ 注

1. 充填対象となるひびわれは、ひびわれ幅1.0mm以上とする。
2. ひびわれに沿って約10mmの幅で、円錐状のダイヤモンドビット等により、U字形にカットする。

※ 施工手順

- 1 カッター切断
- 2 コンクリートはつり
- 3 下地処理
- 4 プライマー塗布
- 5 断面修復材こて塗り

※ 注

1. 劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。
※修復深さについて
鉄筋露出・うき：純かぶり+鉄筋径(主筋)+鉄筋径(配力筋)+10mm程度

2. 被りが浅い箇所の断面修復を行う場合、純被り10mm以上を確保すること。
鋼材の裏側までコンクリートをはつり取り、鋼材の錆を除去し、鋼材の防錆処理を確実に行う事。
鋼材の断面欠損が著しい場合は、新たに鋼材(添え筋)を追加する。

3. 使用材料

断面修復材

無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案) [工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能

要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.5N/mm2以上)

断面修復工

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

ポリマーセメントモルタルの性能例

施工方法	左官	吹付け	充てん
硬化性	普通	速硬	普通
軽量性	普通	軽量	普通
単位容積質量 (kg/l)	1.8~2.2	1.3~1.6	1.8~2.1
フロー	120~160	110~150	120~160
硬化時間 (h)	3~8	3~10	0.5~2
材齢 3h	—	—	3~15
材齢 1d	5~25	3~25	10~30
材齢 7d	20~40	5~30	20~40
材齢 28d	25~60	10~35	25~40
付着強度 (N/mm2)	標準	1.8~3.4	1.8~2.6
引張強度 (N/mm2)	標準	1.6~2.4	2.0~3.0
弾性係数 (kN/mm2)	標準	16~21	12~15
引張強度 (N/mm2)	標準	1.6~2.4	2.0~3.0
収縮率 (×10-6)	標準	8~17	9~13
熱膨張率 (×10-6/℃)	標準	8~17	9~13

出典：「表面保護工法 設計施工指針(案) [工種別マニュアル編]：土木学会」P.202

鉄筋コンクリート補修用防錆材の品質基準

項目	基準値
耐アルカリ性	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ (N/mm2)	7.8以上
防せい性	処理部 防せい率：50%以上 未処理部 防せい率：-10%以上※

※：未処理部の防せい率は、防せい材で処理することによって、マクロセルを形成し、基材部の鉄筋腐食を促進するようなものであってはならず、比較用モルタルの発せい率とほぼ同等以下とし、発せい率で+10%以下 (= 防せい率で-10%以上) とした。

出典：「ひびわれ調査、補修・補強指針：日本コンクリート工学協会」P.128

令和7年度
国
補

※A1→A3に50%縮小印刷

工 事 名	橋梁修繕工事 (栄橋)		
図 面 名	補修標準図		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	5 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

ひびわれ補修工

補修材の要求性能

(この要求性能を参考として、同等品と認められる材料を選定するものとする)

ひびわれ補修材の性能例

項目	注 入 材				
	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材	土木補修用 エポキシ樹脂 注入材	土木補修用 充填材 ポリマー セメント系	土木補修用 充填材 シーラント系
ひびわれ進行区分※1	1種	2種	3種	B	A, B
ひびわれ幅 (mm)	0.2~5.0	0.2~5.0	0.2~5.0	5.0<	5.0<
粘 度 (mPa・s)	1,000以下	4±1※2	1,000以下	10,000以下	ダレを認めず
可使用時間 (分)	30以上	30以上	30以上	240以上	240以上
硬化時間 (時間)	16以内	16以内	24以内	16以内	24以内
硬化収縮 (%)	0.1以下	0.1以下	0.1以下	0.1以下	—
伸 び 率 (%)	—	50以上	100以上	—	800以上
モルタル付着強さ (乾燥面) (N/mm2)	6以上	6以上	6以上	6以上	たわみ量10mm 以上で破壊する こと
付着力耐久保持率 (%) ※3	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上

※1：A=ひびわれが進行している、B=ひびわれの進行が止まった

※2：チキソロビック係数 2rpm/20rpmの粘度で表す。

※3：規格に対する百分率

出典：「ひびわれ調査、補修・補強指針：日本コンクリート工学協会」P.124

補修図（その１）

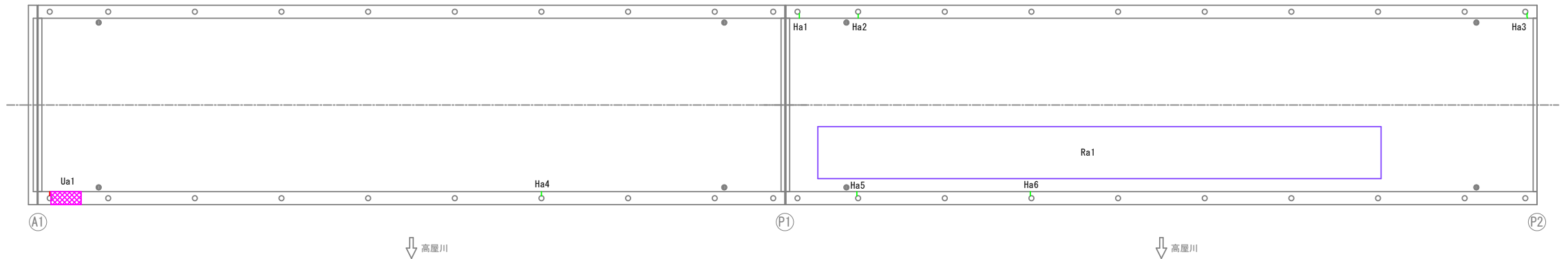
S=1：60

地覆 側面図

上流側



平面図（橋面）



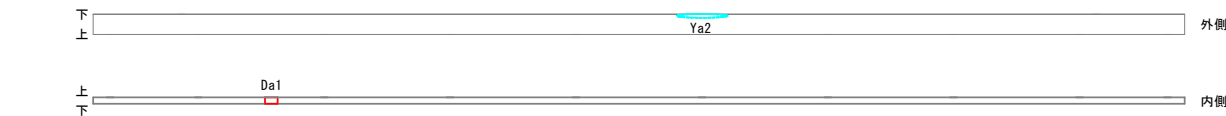
地覆 側面図

下流側

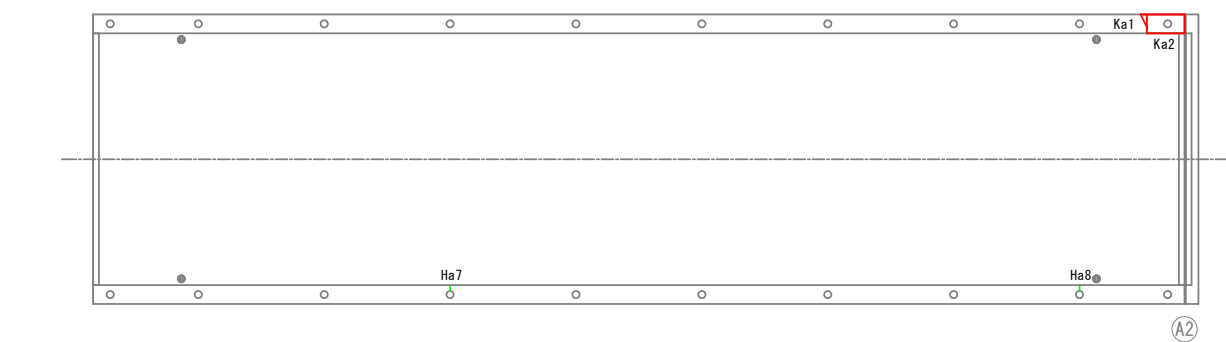


地覆 側面図

上流側



平面図（橋面）



地覆 側面図

下流側



損傷凡例

記号	損傷種類	数量記号
	ひびわれ (W=0.2mm未満)	A
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満)	H
	ひびわれ (W=1.0mm以上)	J
	うき	U
	剥離	D
	鉄筋露出	T
	欠損	K
	摩耗・浸食	S
	豆板	M
	遊離石灰	Y
	漏水跡	W
	腐食, 防食機能の劣化	FB
	防食機能の劣化	B
	その他	各種

ひびわれ注入工数量（3種）

No	寸法(mm)
地覆	
0.2～1.0mm未満	
Ha 1	0.30 × 200
2	0.30 × 200
3	0.60 × 200
4	0.20 × 200
5	0.20 × 200
6	0.20 × 200
7	0.20 × 200
8	0.20 × 200
9	0.40 × 900
合計 (m)	2.500
平均ひびわれ幅 (m)	0.00032

ひびわれ充填工数量

No	寸法(mm)
地覆	
ひびわれ	
Ja 1	L = 200
遊離石灰	
Ya 1	L = 800
Ya 2	L = 800
Ya 3	L = 800
合計 (m)	2.600

断面修復工数量(地覆・床版・橋脚部)
はつり50mm

No	寸法(mm)	面積(m2)
地覆		
うき		
Ua 1	300 × 700	0.210
Ua 2	200 × 900	0.180
小計		0.390
剥離		
Da 1	100 × 200	0.020
小計		0.020
鉄筋露出		
Ta 2	100 × 100	0.010
Ta 3	100 × 100	0.010
Ta 4	100 × 100	0.010
小計		0.030
合計		0.440

断面修復工数量(地覆 (Ta1, Ka1, Ka2) 部)
はつり100mm

No	寸法(mm)	面積(m2)
地覆		
鉄筋露出		
Ta 1	300 × 400	0.120
小計		0.120
欠損		
Ka 1	200 × 100 / 2	0.010
Ka 2	300 × 600	0.180
小計		0.190
合計		0.310

断面修復工数量(橋面部)
はつり20mm

No	寸法(mm)	面積(m2)
橋面		
表面劣化		
Ra 1	1200 × 13000	15.600
合計		15.600

※A1→A3に50%縮小印刷

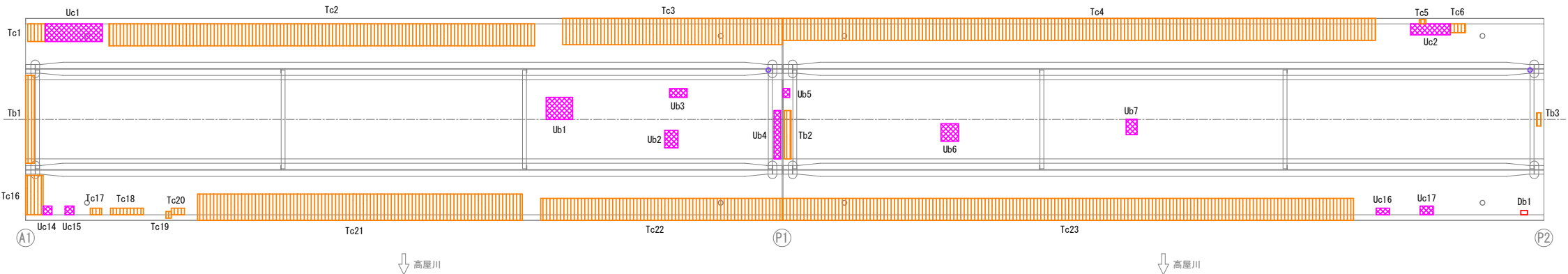


- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - はつり深さは現地鉄筋の腐食状況に応じて変更すること。

工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	補修図（その１）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	6 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

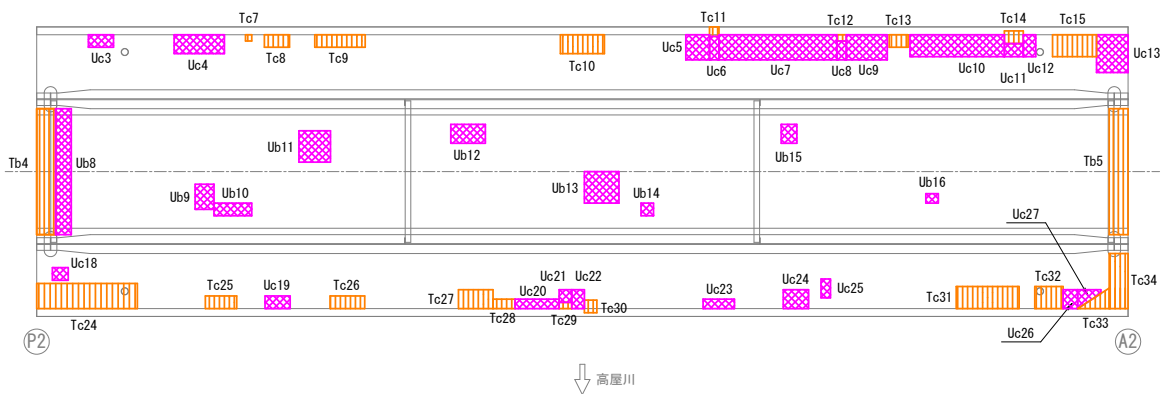
補修図（その2）

平面図（桁下） S=1:60



損 傷 凡 例		
記 号	損 傷 種 類	数 量 記 号
	ひびわれ (W=0.2mm未満)	A
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満)	H
	ひびわれ (W=1.0mm以上)	J
	う き	U
	剥 離	D
	鉄筋露出	T
	欠 損	K
	摩 耗・浸 食	S
	豆 板	M
	遊離石灰	Y
	漏水跡	W
	腐食、防食機能の劣化	FB
	防食機能の劣化	B
	その他	各種

平面図（桁下） S=1:60



断面修復工数量 (防錆処理あり)
はつり50mm

No	寸 法 (mm)	面積 (㎡)	No	寸 法 (mm)	面積 (㎡)	No	寸 法 (mm)	面積 (㎡)
中間床版			張出床版			うき		
鉄筋露出			鉄筋露出			Uc	1	400 × 1300
Tb	1	2000 × 200	Tc	1	400 × 400	2	250 × 900	0.225
2	1100 × 150	0.165	2	500 × 9700	4.850	3	200 × 400	0.080
3	300 × 100	0.030	3	600 × 5000	3.000	4	300 × 800	0.240
4	2000 × 300	0.600	4	500 × 13500	6.750	5	400 × 375	0.150
5	2000 × 300	0.600	5	100 × 150	0.015	6	375 × 150	0.056
うき			6	200 × 350	0.070	7	400 × 1875	0.750
Ub	1	500 × 600	7	100 × 100	0.010	8	300 × 150	0.045
2	400 × 300	0.120	8	200 × 400	0.080	9	400 × 650	0.260
3	200 × 450	0.090	9	200 × 800	0.160	10	350 × 1500	0.525
4	1100 × 150	0.165	10	300 × 700	0.210	11	210 × 300	0.063
5	200 × 150	0.030	11	150 × 150	0.023	12	350 × 200	0.070
6	400 × 400	0.160	12	100 × 150	0.015	13	600 × 500	0.300
7	350 × 250	0.088	13	200 × 300	0.060	14	200 × 200	0.040
8	2000 × 250	0.500	14	200 × 300	0.060	15	200 × 200	0.040
9	400 × 300	0.120	15	350 × 700	0.245	16	150 × 300	0.045
10	200 × 600	0.120	16	900 × 400	0.360	17	200 × 300	0.060
11	500 × 500	0.250	17	150 × 260	0.039	18	200 × 250	0.050
12	300 × 550	0.165	18	150 × 750	0.113	19	200 × 400	0.080
13	500 × 550	0.275	19	150 × 120	0.018	20	150 × 700	0.105
14	200 × 200	0.040	20	120 × 300	0.036	21	200 × 200	0.040
15	300 × 250	0.075	21	600 × 7400	4.440	22	300 × 200	0.060
16	150 × 200	0.030	22	500 × 5500	2.750	23	150 × 500	0.075
小 計			23	500 × 13000	6.500	24	300 × 400	0.120
			24	400 × 1600	0.640	25	150 × 300	0.045
			25	200 × 500	0.100	26	300 × 230	0.069
			26	200 × 550	0.110	27	((60+300) × 370) / 2	0.067
			27	300 × 550	0.165	剥離		
			28	150 × 350	0.053	Db	1	100 × 150
			29	100 × 200	0.020	小 計		
			30	200 × 200	0.040	合 計		
			31	350 × 1000	0.350			
			32	350 × 450	0.158			
			33	(325 × 500) / 2	0.081			
			34	875 × 300	0.263			

※A1→A3に50%縮小印刷

【留意事項】

- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
- 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
- はつり深さは現地鉄筋の腐食状況に応じて変更すること。



工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	補修図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	7 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

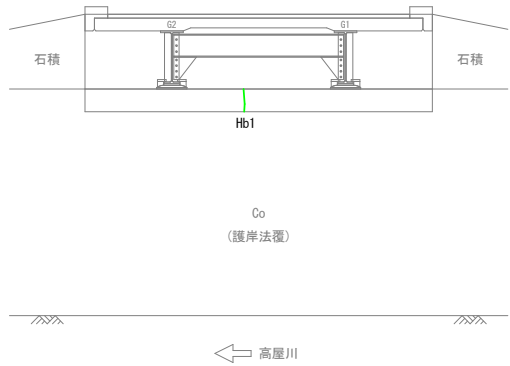
A1橋台
橋座平面図



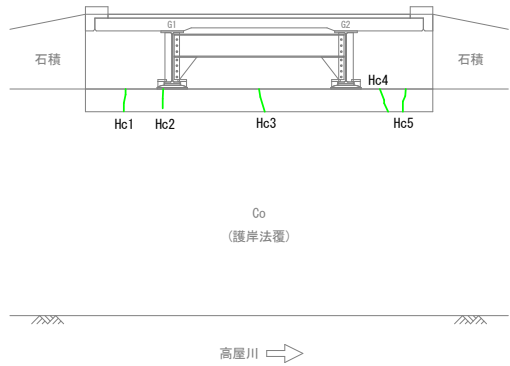
A2橋台
橋座平面図



正面図



正面図



損傷凡例

記号	損傷種類	数量記号
	ひびわれ (W=0.2mm未満)	A
	ひびわれ (W=0.2mm~1.0mm未満)	H
	ひびわれ (W=1.0mm以上)	J
	うき	U
	剥離	D
	鉄筋露出	T
	欠損	K
	摩耗・浸食	S
	豆板	M
	遊離石灰	Y
	漏水跡	W
	腐食、防食機能の劣化	FB
	防食機能の劣化	B
	その他	各種

ひびわれ注入工数量（1種）			
No	寸 法 (mm)		
A1橋台			
0.2～1.0mm未満			
Hb	1	0.30	— 300
合 計 (m)			0.300
平均ひびわれ幅 (m)			0.00030

ひびわれ注入工数量（1種）			
No		寸 法(mm)	
A2橋台			
0.2～1.0mm未満			
Hc	1	0.20	— 250
	2	0.50	— 250
	3	0.30	— 250
	4	0.40	— 250
	5	0.20	— 250
	6	0.30	— 500
合 計 (m)		1.750	
平均ひびわれ幅 (m)		0.00031	

※A1→A3に50%縮小印刷



- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	補修図（その3）		
作成年月日	令和7年6月		
縮尺	図示	図面番号	8 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その４）S=1:50

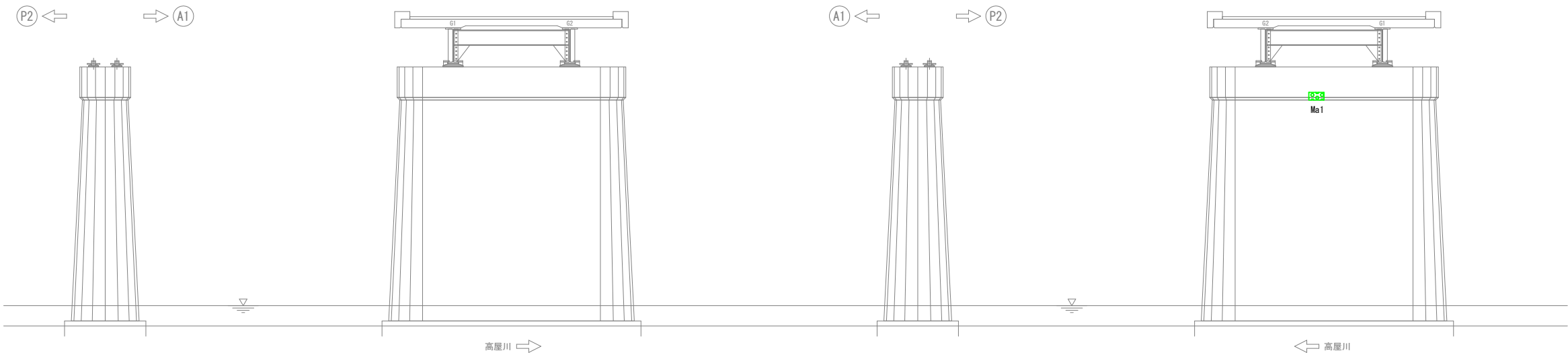
P1橋脚

側面図(上流側)

正面図(A1側)

側面図(下流側)

正面図(P2側)



損傷凡例

記号	損傷種類	数量記号
	ひびわれ (W=0.2mm未満)	A
	ひびわれ (W=0.2mm～1.0mm未満)	H
	ひびわれ (W=1.0mm以上)	J
	うき	U
	剥離	D
	鉄筋露出	T
	欠損	K
	摩耗・浸食	S
	豆板	M
	遊離石灰	Y
	漏水跡	W
	腐食、防食機能の劣化	FB
	防食機能の劣化	B
	その他	各種

断面修復工数量(防錆処理あり)
はつり50mm

No	寸法(mm)	面積(m2)
P1橋脚		
豆板		
Ma 1	150 × 300	0.045
合計		0.045

※A1→A3に50%縮小印刷



- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - はつり深さは現地鉄筋の腐食状況に応じて変更すること。

工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	補修図（その４）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮尺	図示	図面番号	9 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

補修図（その5） S=1:50

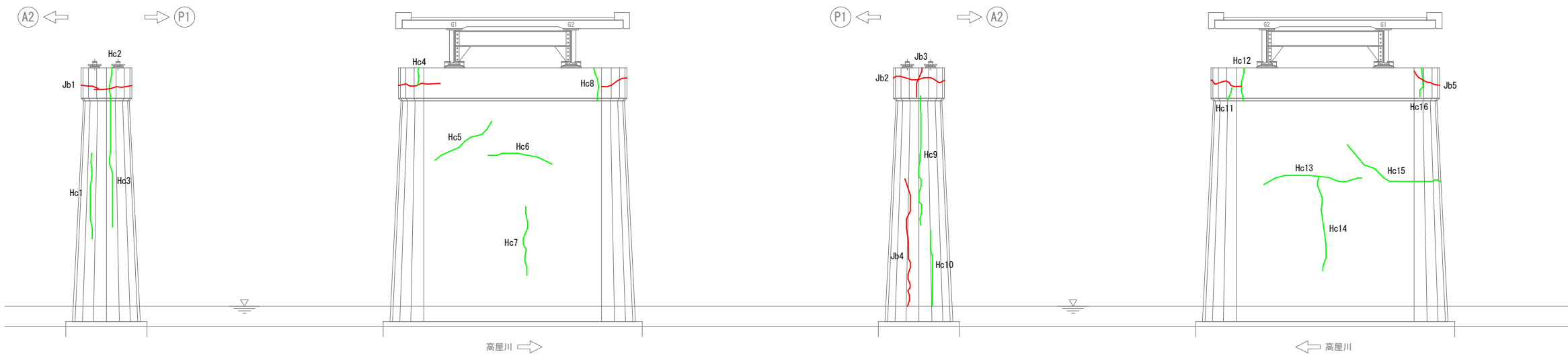
P2橋脚

側面図(上流側)

正面図(P1側)

側面図(下流側)

正面図(A2側)



損傷凡例

記号	損傷種類	数量記号
	ひびわれ (W=0.2mm未満)	A
	ひびわれ (W=0.2mm～1.0mm未満)	H
	ひびわれ (W=1.0mm以上)	J
	うき	U
	剥離	D
	鉄筋露出	T
	欠損	K
	摩耗・浸食	S
	豆板	M
	遊離石灰	Y
	漏水跡	W
	腐食、防食機能の劣化	FB
	防食機能の劣化	B
	その他	各種

ひびわれ注入工数量(1種)

No		寸 法 (mm)	
P2橋脚			
0.2～1.0mm未満			
Hc	1	0.50	— 1700
	2	0.50	— 650
	3	0.50	— 2500
	4	0.20	— 350
	5	0.20	— 1400
	6	0.20	— 1300
	7	0.20	— 1400
	8	0.20	— 650
	9	0.70	— 2600
	10	0.40	— 1500
	11	0.20	— 250
	12	0.40	— 650
	13	0.20	— 2000
	14	0.20	— 1900
	15	0.30	— 2200
	16	0.80	— 600
合 計 (m)		21.650	
平均ひびわれ幅 (m)		0.00037	

ひびわれ充填工数量

No	寸 法 (mm)	
P2橋脚		
ひびわれ		
Jb	1	L = 1600
	2	L = 2000
	3	L = 600
	4	L = 2600
	5	L = 950
合 計 (m)		7.750

※A1→A3に50%縮小印刷

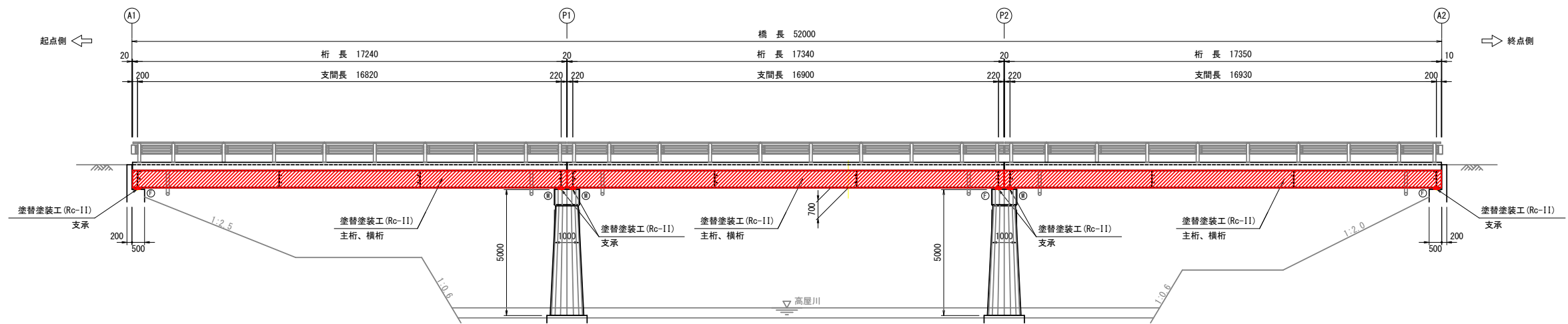


- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

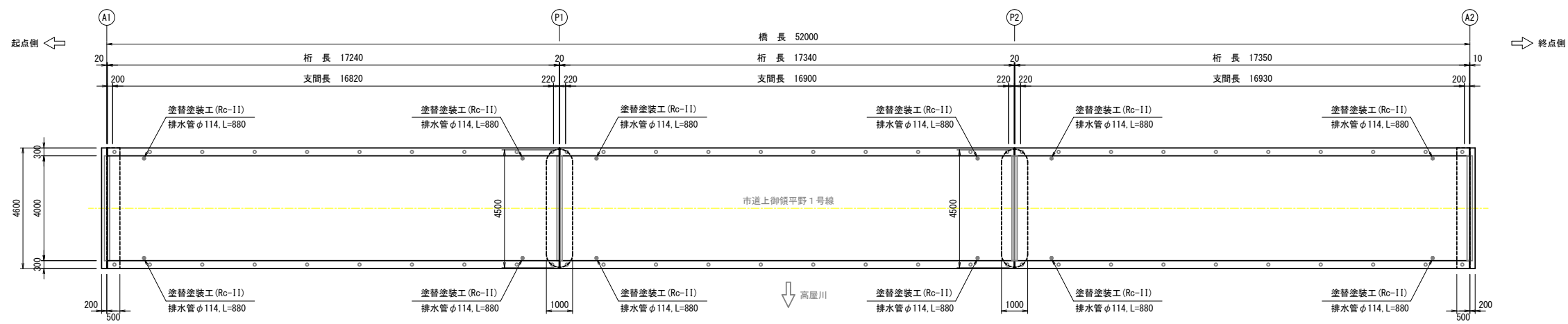
工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	補修図（その5）		
作成年月日	令和7年6月		
縮尺	図示	図面番号	10 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

塗替塗装工図（その1）

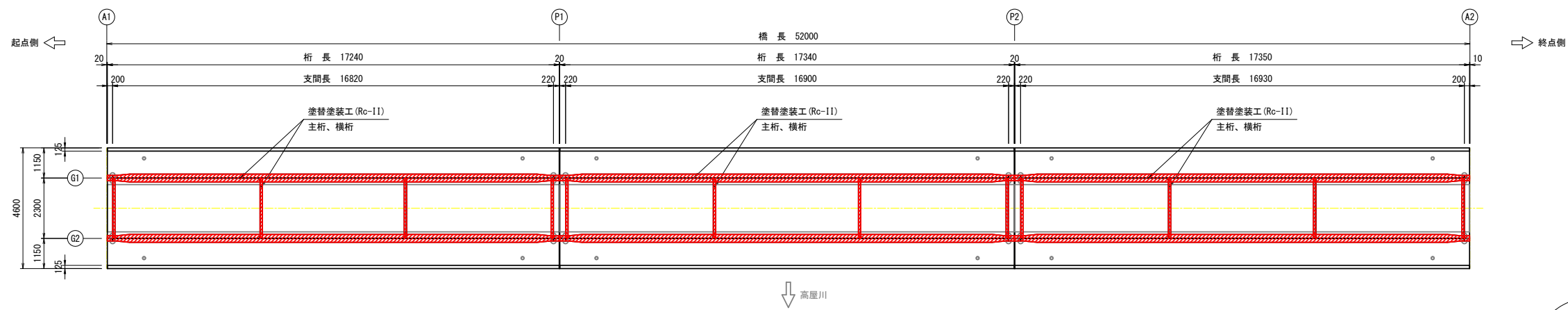
側面図 S=1:100



平面図（橋面） S=1:100



平面図（桁下） S=1:100



※A1→A3に50%縮小印刷

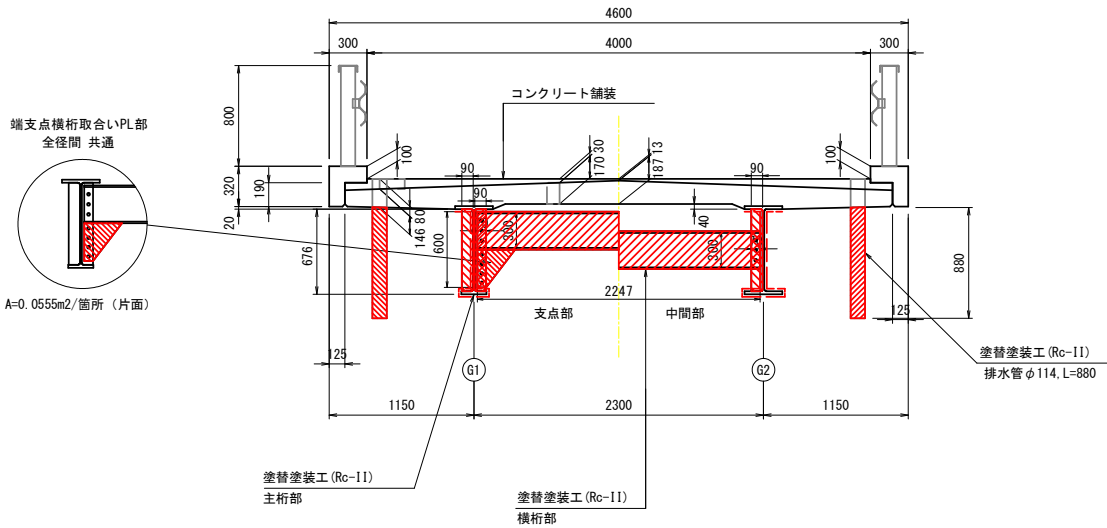


- 【留意事項】
- 1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

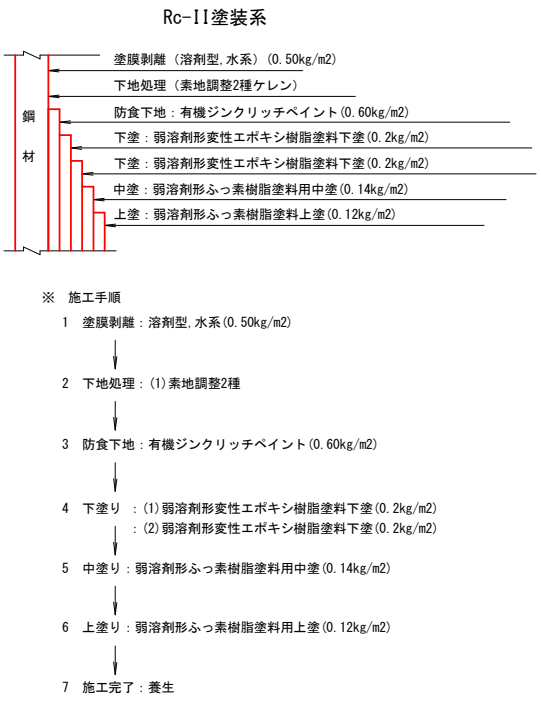
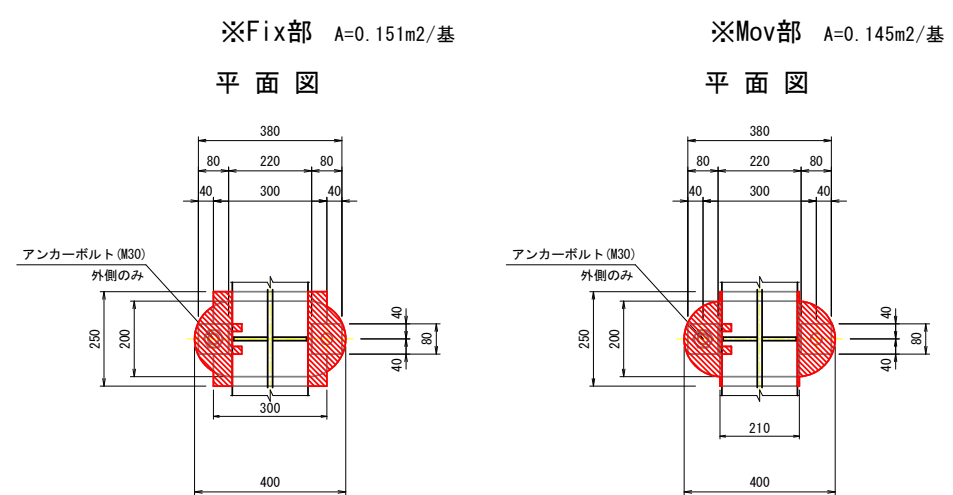
工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	塗替塗装工図（その1）		
作成年月日	令和7年6月		
縮尺	図示	図面番号	11 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

塗替塗装工図（その2）

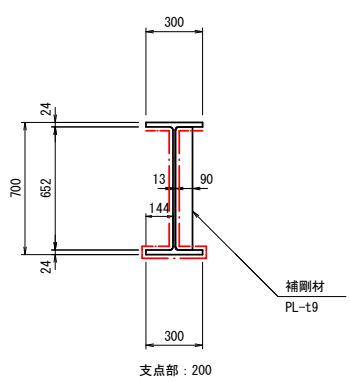
標準断面図 S=1:30



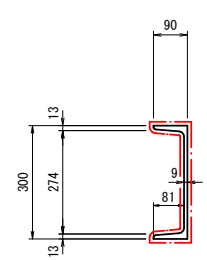
支 承 詳 細 図 S=1:10



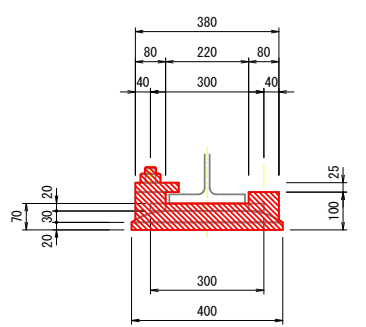
主桁断面図 S=1:20



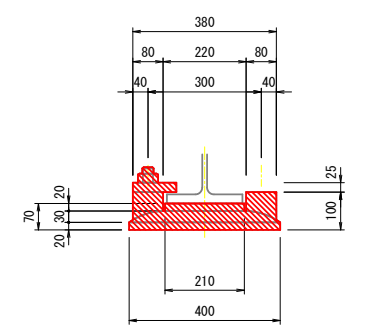
横桁断面図 S=1:10



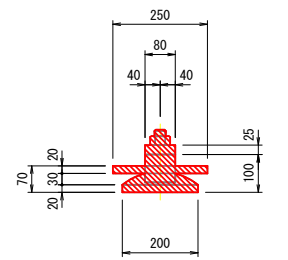
正 面 図



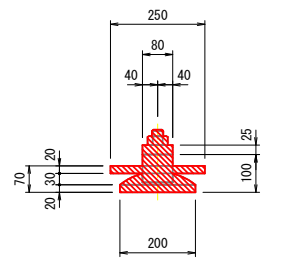
正 面 図



側 面 図

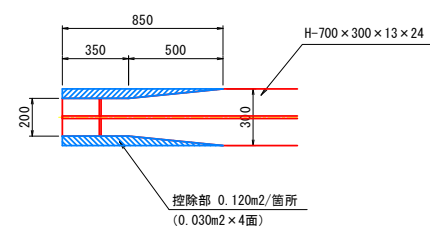


側 面 図



主桁端部（下フランジ） 詳細図 S=1:20

H-700×300×13×24 共通



塗装塗替工 (Rc-II)

腐食、防食機能の劣化	
名 称	面 積 (m2)
主桁	232.829
横桁	25.976
排水施設	3.792
支承	1.776
合計	264.373

Rc-II塗装系（はけ・ローラー）

塗装工程	塗 料 名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
塗膜剥離	溶剤型, 水系	500	
下地処理	素地調整2種ケレン		4時間以内
防食下地	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

※A1→A3に50%縮小印刷

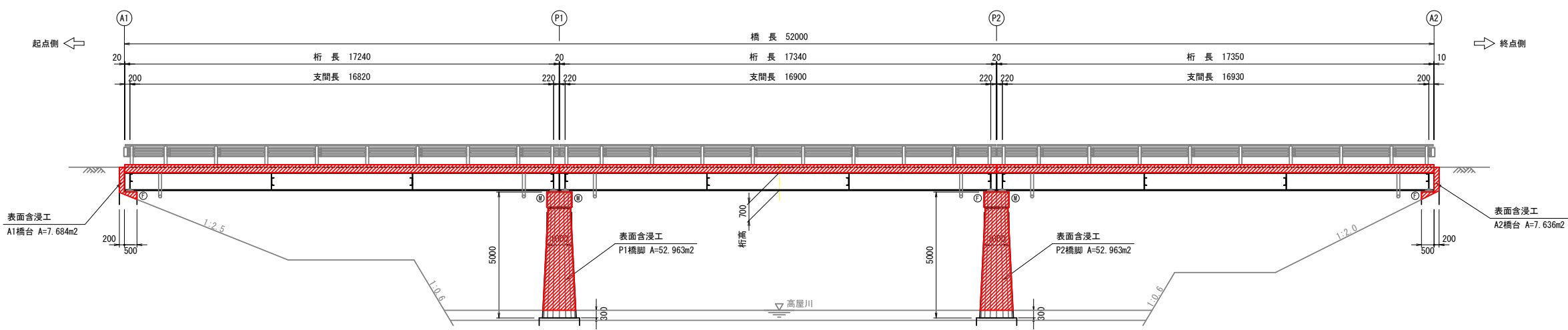


【留意事項】
1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	塗替塗装工図（その2）		
作成年月日	令和7年6月		
縮 尺	図 示	図面番号	12 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

表面含浸工図（その1）

側面図 S=1:100

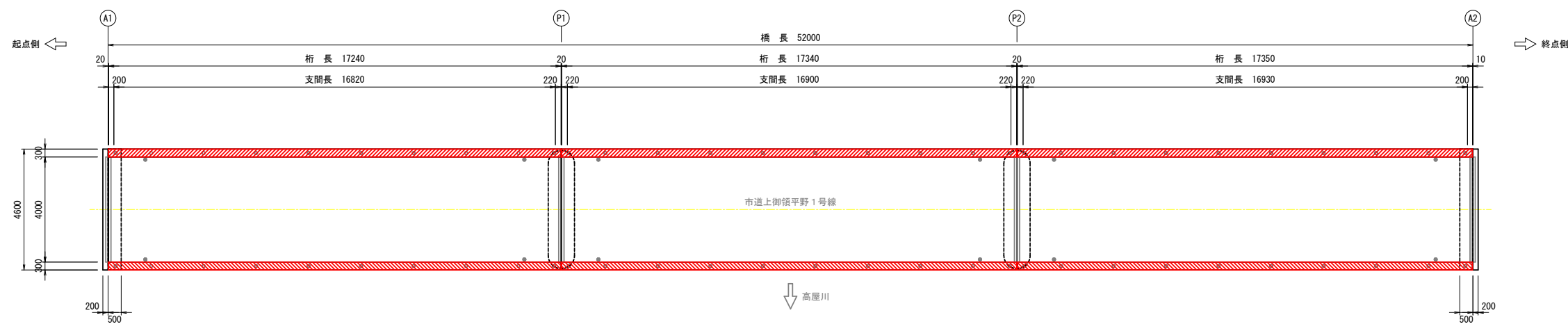


表面含浸工数量
(けい酸塩系)

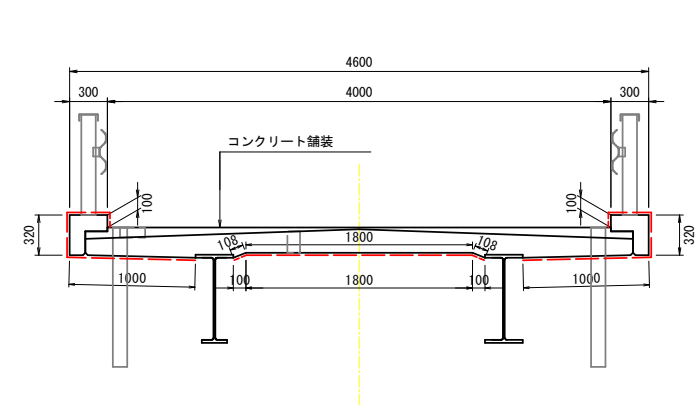
名 称	面 積
床版（地覆含む）	283.330 m ²
A1橋台	7.684 m ²
P1橋脚	52.963 m ²
P2橋脚	52.963 m ²
A2橋台	7.636 m ²
合 計	404.576 m ²

表面含浸工塗布範囲

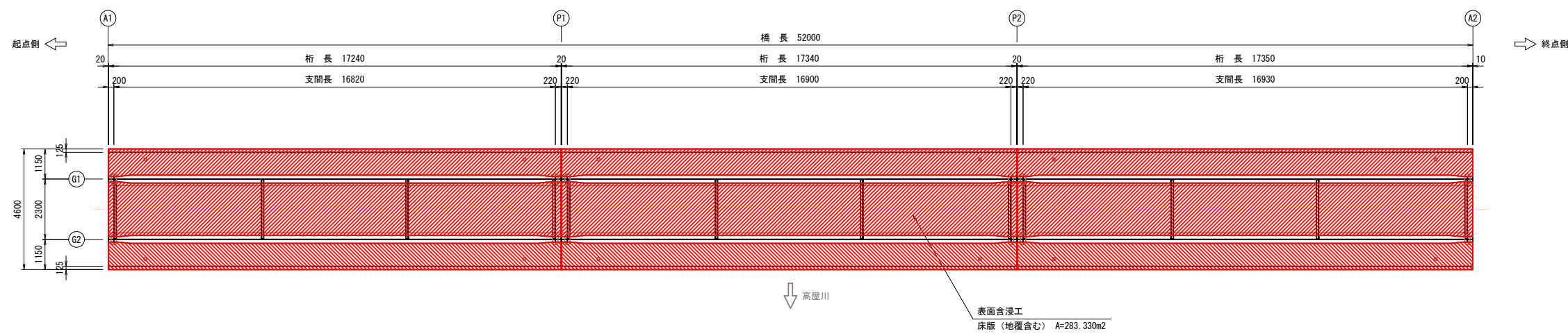
平面図（橋面） S=1:100



標準断面図 S=1:30



平面図（桁下） S=1:100



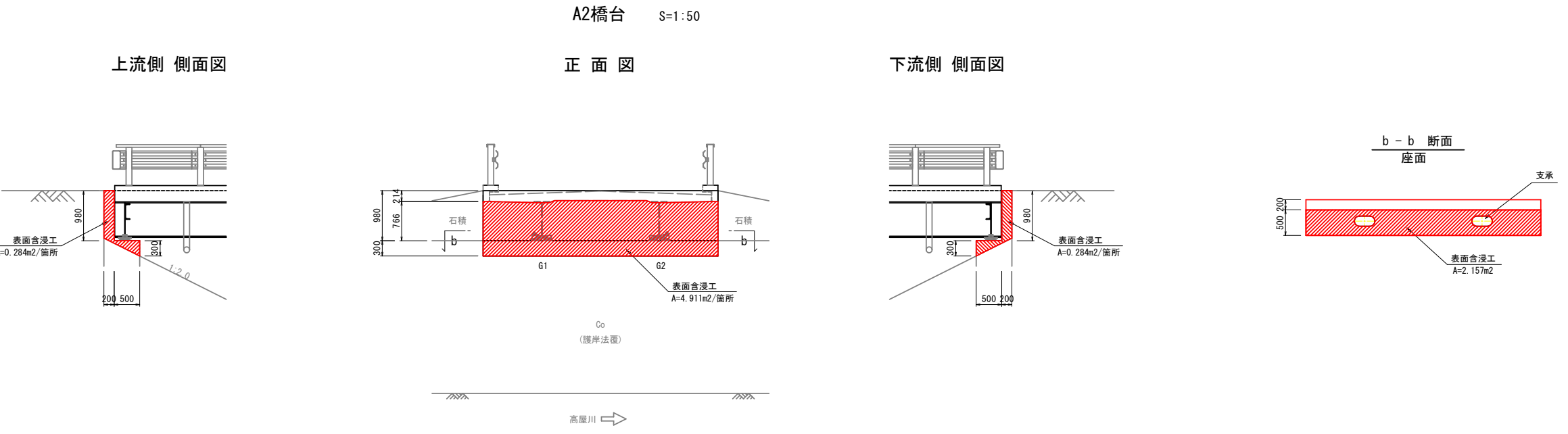
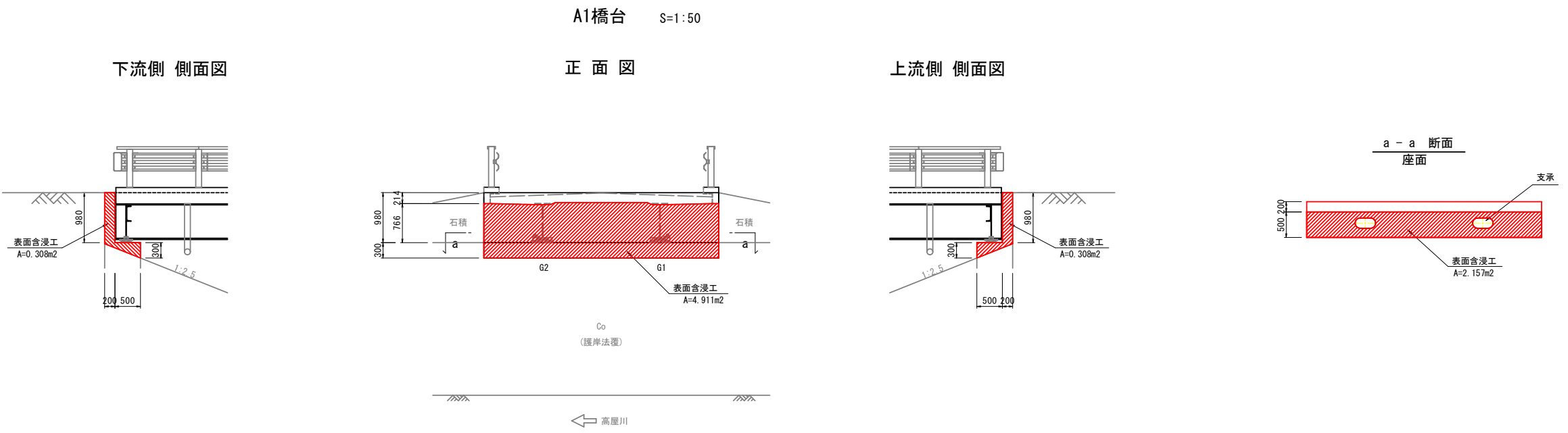
※A1→A3に50%縮小印刷

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	表面含浸工図（その1）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

令和7年度
国
補

- 【留意事項】
- 1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - 3) 表面含浸工の範囲は、現地調査時の水位（フーチング天端から30cm）として想定。

表面含浸工図（その2）



※A1→A3に50%縮小印刷

【留意事項】
1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

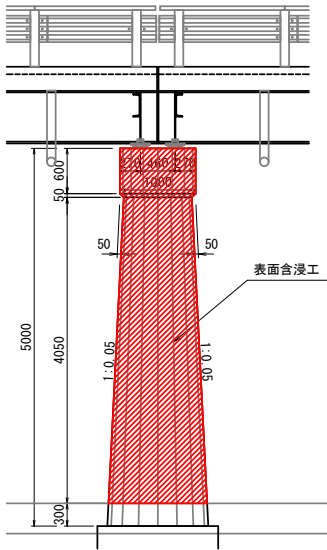


工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	表面含浸工図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

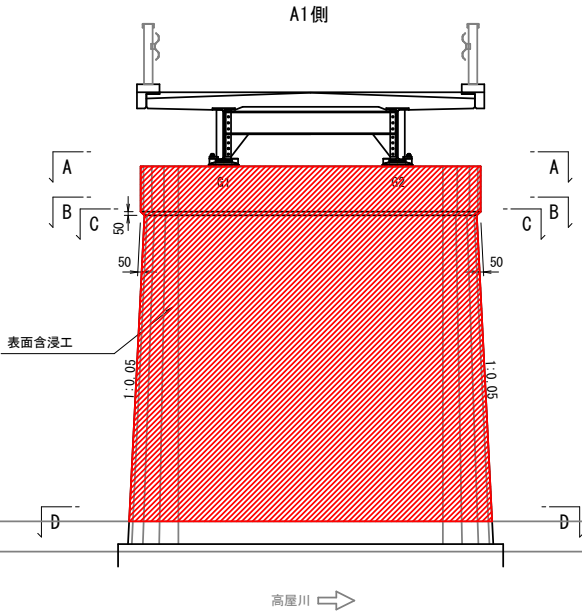
表面含浸工図（その3）

P1橋脚 S=1:50
(P2共通)

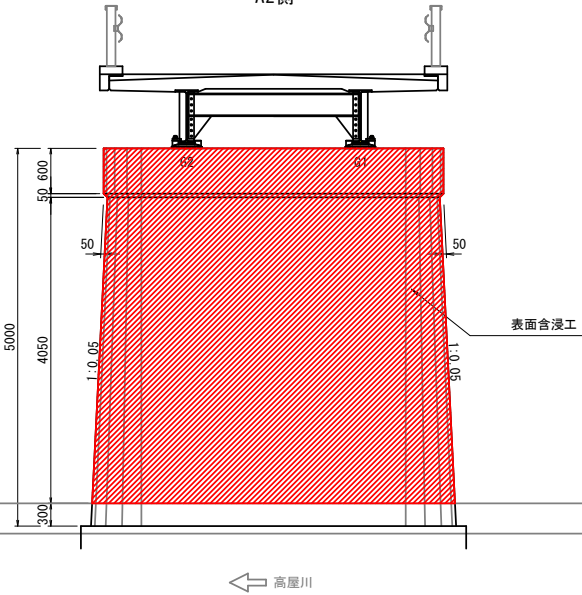
上流側 側面図



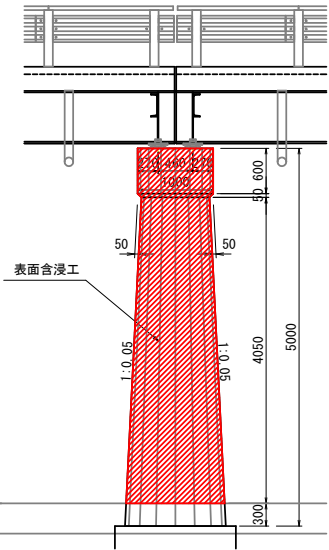
正面図



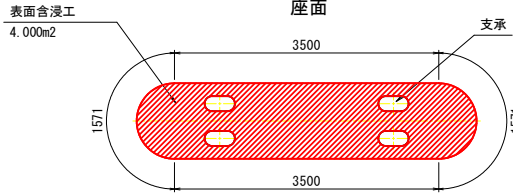
A2側



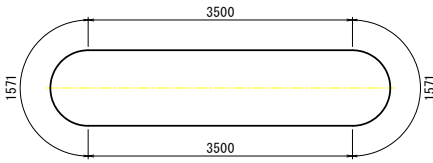
下流側 側面図



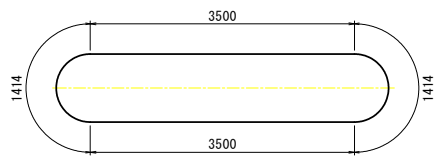
A - A 断面



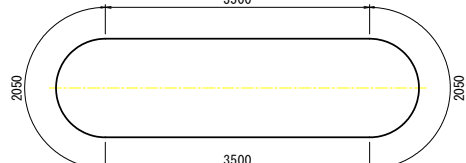
B - B 断面



C - C 断面



D - D 断面



- 【留意事項】
- 1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - 3) 表面含浸工の範囲は、現地調査時の水位（フーチング天端から30cm）として想定。

令和7年度
国補

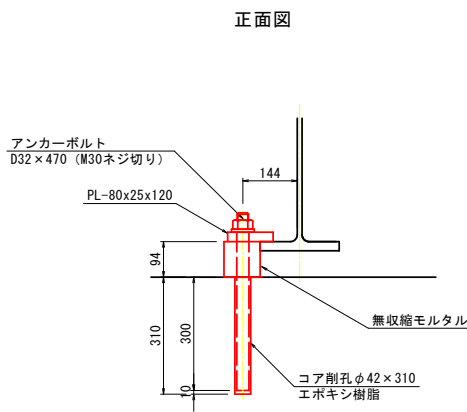
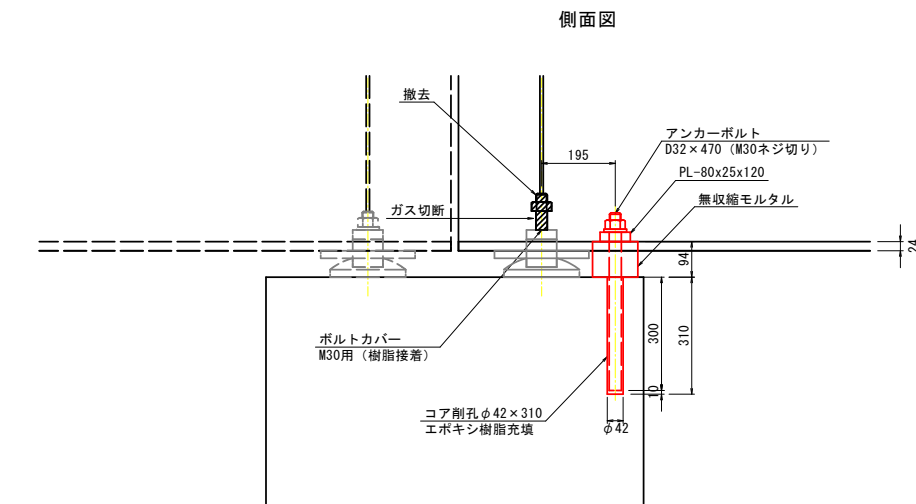
※A1→A3に50%縮小印刷			
工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	表面含浸工図（その3）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

アンカー・ボルト補修図

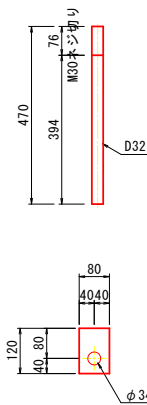
S=1:100

(アンカー設置工・高力ボルト取付工)

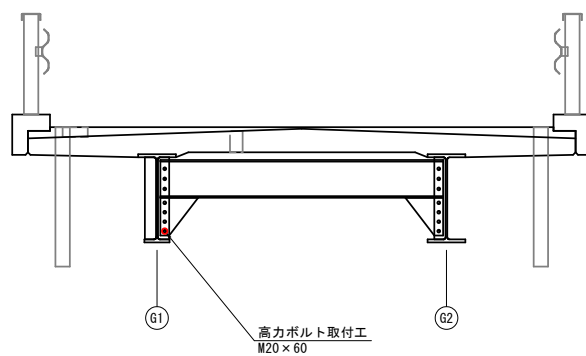
アンカー設置工 S=1:10



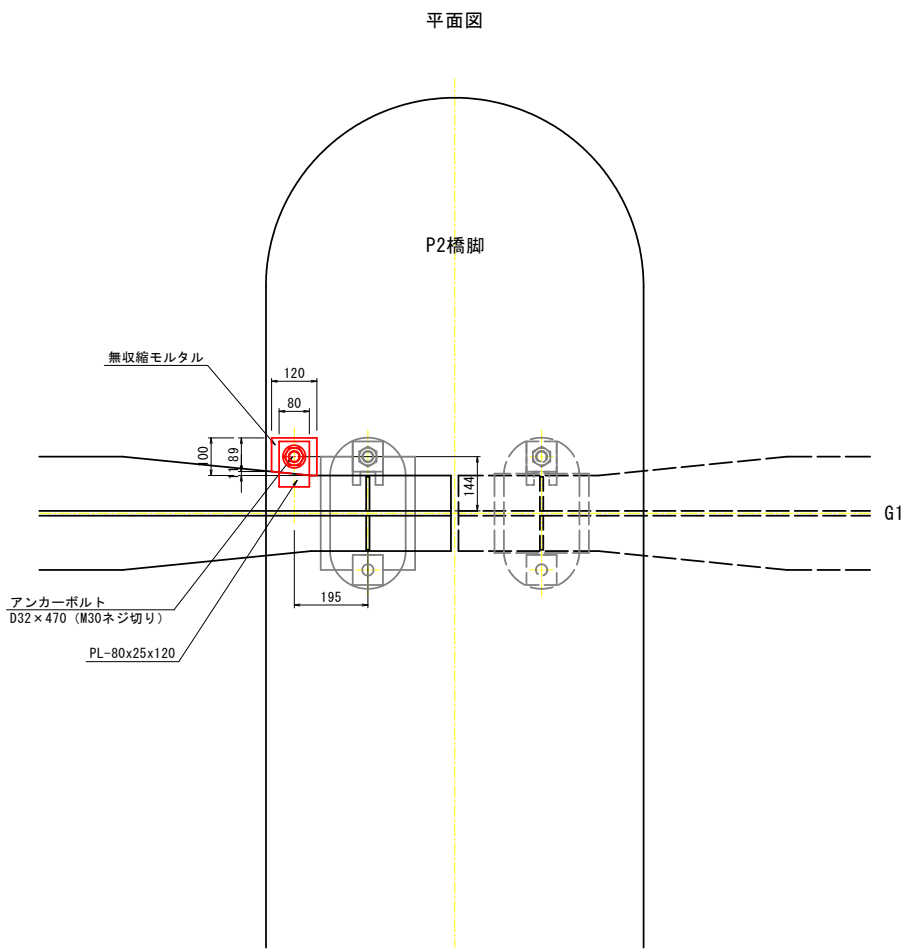
鋼材詳細図



高力ボルト取付工 S=1:30

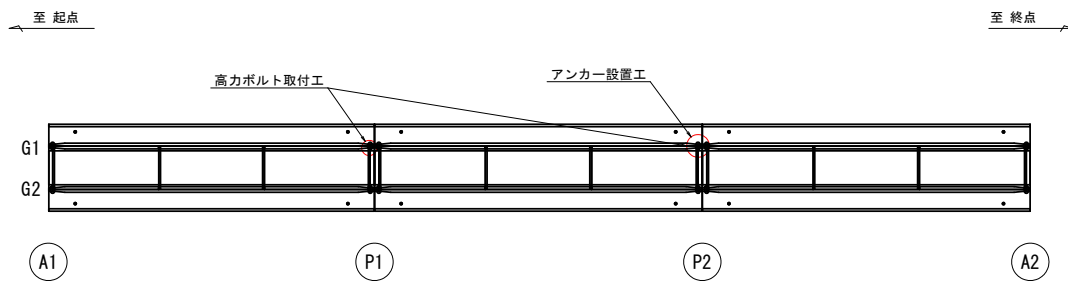


材料表
M20 x 60 (F10T) 2本



材料表
1-PL 80 x 25 x 120 (SS400)
1-Anc Bolt D32 x 470 (SD345)
1-Washer M30
1-Nut M30
1-ボルトカバー M30

位置図



※A1→A3に50%縮小印刷

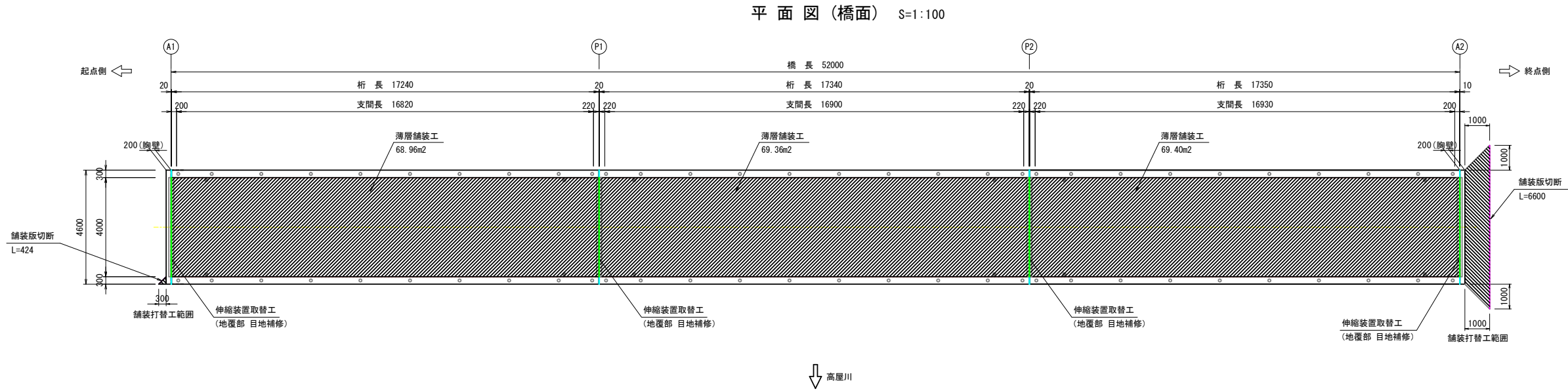
工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	アンカー・ボルト補修図		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	16 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

【留意事項】

- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
- 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
- コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。

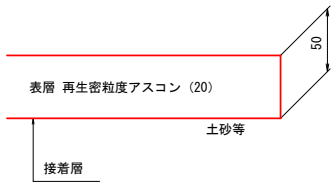


橋面補修工図（その１）



舗装構成図 S=1:3

擦り付け部



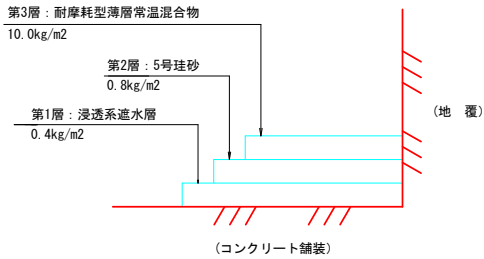
※（ ）は、最大骨材径を示す。

舗装打替工数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
舗装版切断工	舗装厚=50mm	m	7.024	0.424+6.6
舗装版破砕工	舗装版厚=15cm以下	m2	5.645	0.045+5.6
表層	再生密粒度As (20) t=50mm	m2	5.645	0.045+5.6

注1：施工前に現況状況及び寸法等を実測し、図面照合の確認を行うこと。

耐摩耗型複合薄層遮水性舗装



耐摩耗型複合薄層遮水性舗装工数量

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
高摩耗抵抗型常温混合物		m2	207.72	68.96+69.36+69.4

※A1→A3に50%縮小印刷



- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

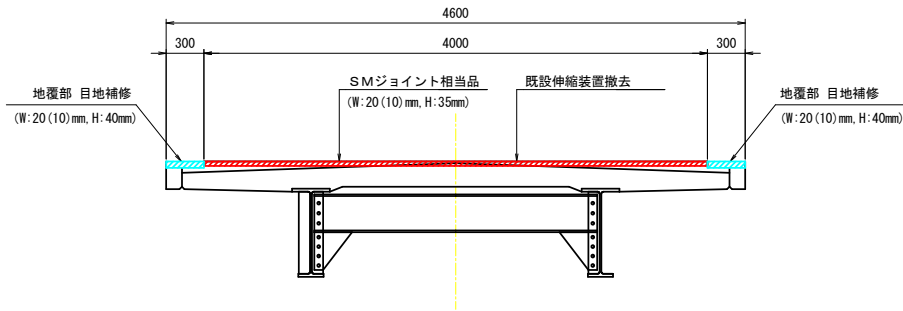
工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	橋面補修工図（その１）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	17 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

橋面補修工図（その2）

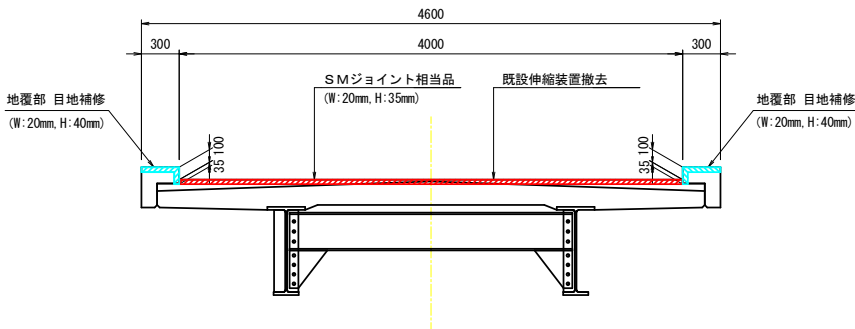
伸縮装置取付断面図 S=1:30

A1・A2部 断面図

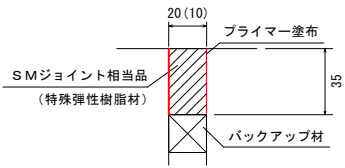
() 寸法はA2橋台の寸法を示す。



P1・P2部 断面図



車道部 断面図 S=1:2

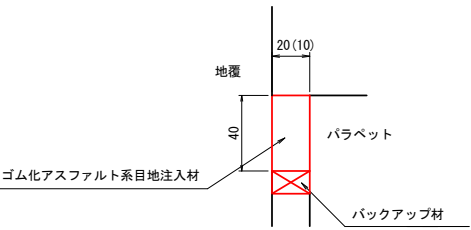


() 寸法はA2橋台の寸法を示す。

数量表（SMジョイント相当品）

地点	幅	厚さ	延長	SMジョイント相当品	プライマー	バックアップ材
	(mm)	(mm)	(m)	特殊弾性樹脂材 (L)	1液ウレタン系 プライマー (mL)	
A1(車道)	20	35	4.0	3.6	42	4.0
P1(車道)	20	35	4.0	3.1	42	4.0
P2(車道)	20	35	4.0	3.1	42	4.0
A2(車道)	10	35	4.0	0.9	24	4.0
合計			16.0	10.2	150	16.0

A1・A2地覆部 断面図 S=1:2

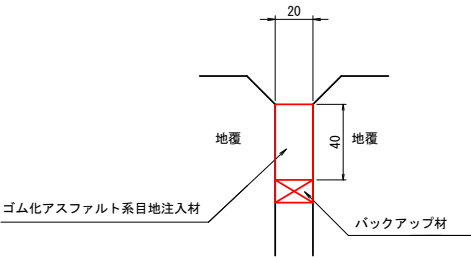


() 寸法はA2橋台の寸法を示す。

数量表（地覆部）

地点	幅	厚さ	ゴム化アスファルト系目地注入材		バックアップ材	備考
	(mm)	(mm)	(m)	(L)	(m)	
A1(地覆)	20	40	0.6	0.480	0.6	0.3+0.3
P1(地覆)	20	40	0.87	0.696	0.87	(0.3+0.1+0.035)×2
P2(地覆)	20	40	0.87	0.696	0.87	(0.3+0.1+0.035)×2
A2(地覆)	10	40	0.6	0.240	0.6	0.3+0.3
合計			2.94	2.112	2.94	

P1・P2地覆部 断面図 S=1:2



※A1→A3に50%縮小印刷

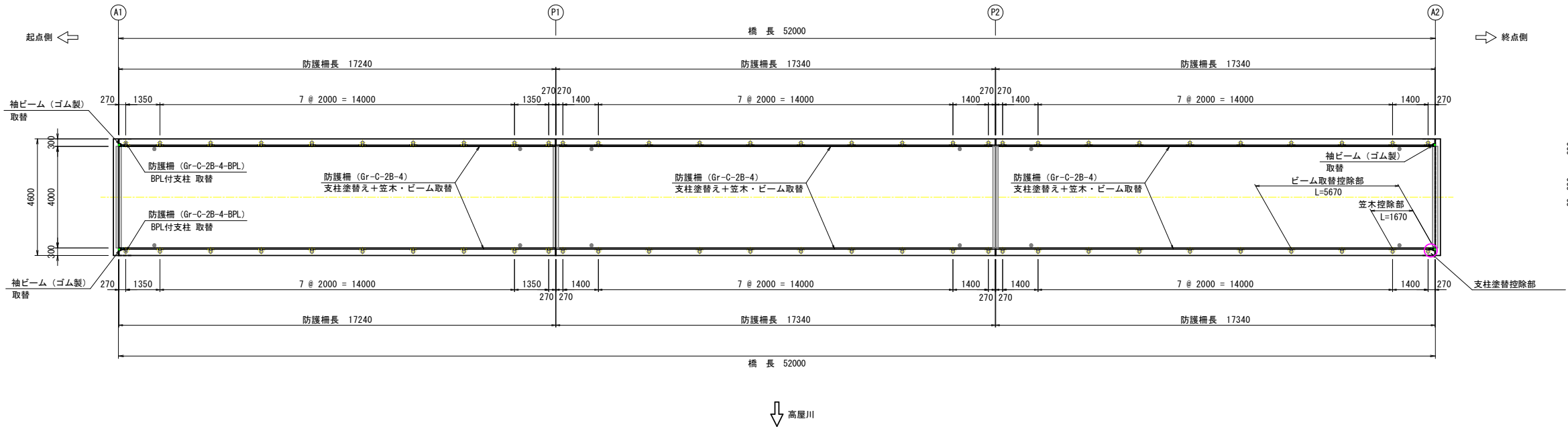


- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。
 - 既設伸縮装置撤去に伴う欠損等が生じた場合は、必要に応じて監督員と協議を行い、超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。

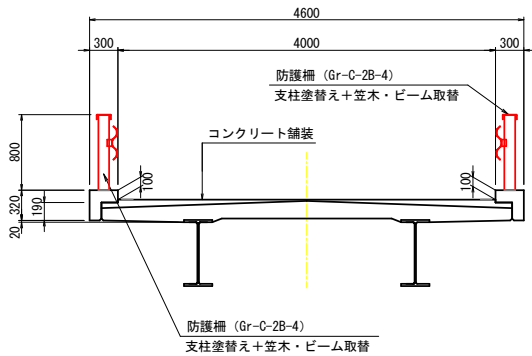
工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	橋面補修工図（その2）		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	18 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

防護柵補修工図

平面図（橋面） S=1:100

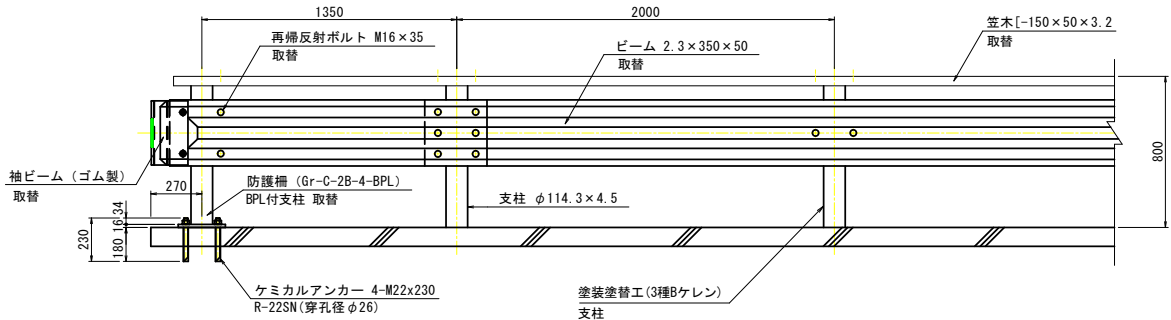


断面図 S=1:40



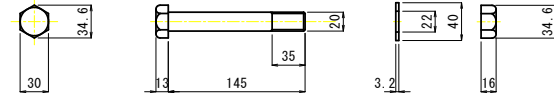
撤去及び組立図 S=1:20

※既設のビーム・笠木を撤去後、組立てを行う。
※支柱のみ塗装塗替えを行う。
※A1側 BPL付支柱の取替を行う。
施工に先立ち鉄筋探査を行い、地覆鉄筋と干渉しないことを確認すること。

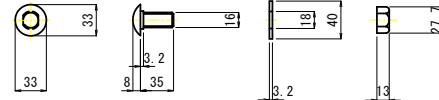


取付ボルト S=1:4

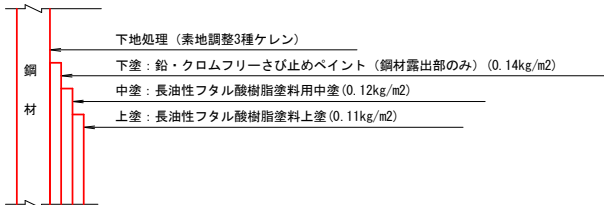
M20×145



M16×35



Ra-III塗装系

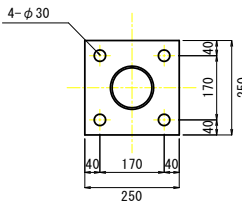


※ 施工手順

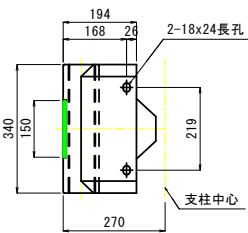
- 下地処理：(1)素地調整3種
- 中塗り：長油性フタル酸樹脂塗料用中塗白色 (0.12kg/m²)
- 上塗り：長油性フタル酸樹脂塗料上塗白色 (0.11kg/m²)
- 施工完了：養生

ベースプレート詳細図 S=1:10

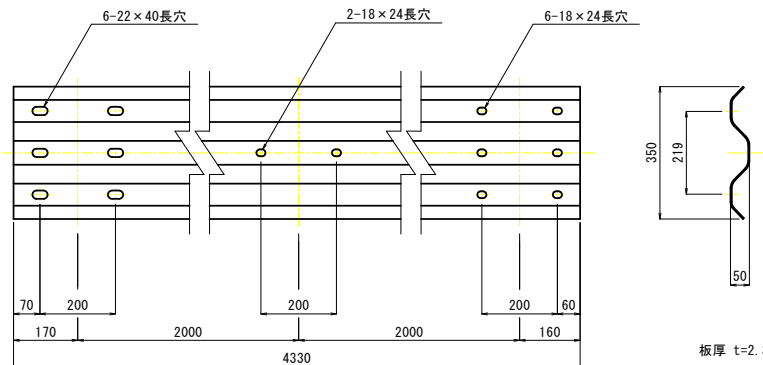
BPL-16×250×250



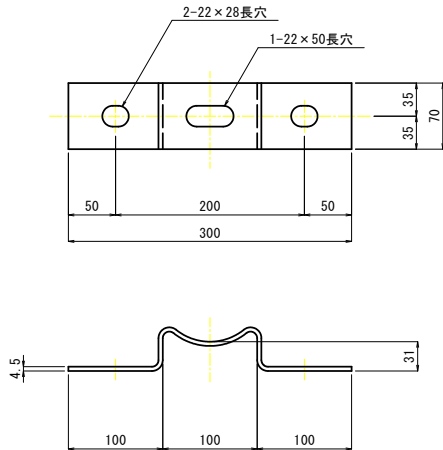
袖ビーム S=1:10



ビーム S=1:10



ブラケット S=1:4



※A1→A3に50%縮小印刷



工事名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図面名	防護柵補修工図		
作成年月日	令和7年6月		
縮尺	図示	図面番号	19 / 20
会社名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

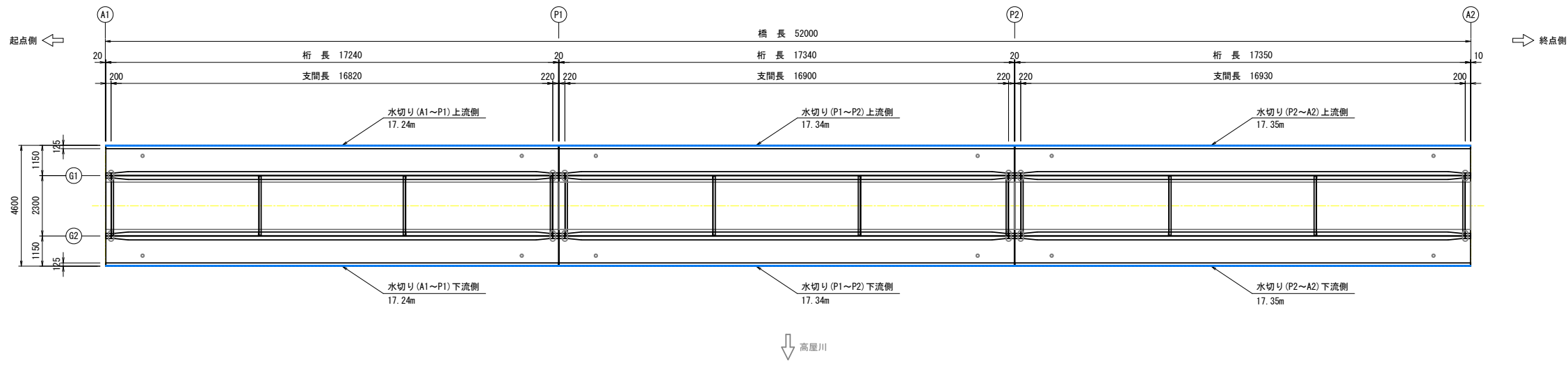
【留意事項】

- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
- 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

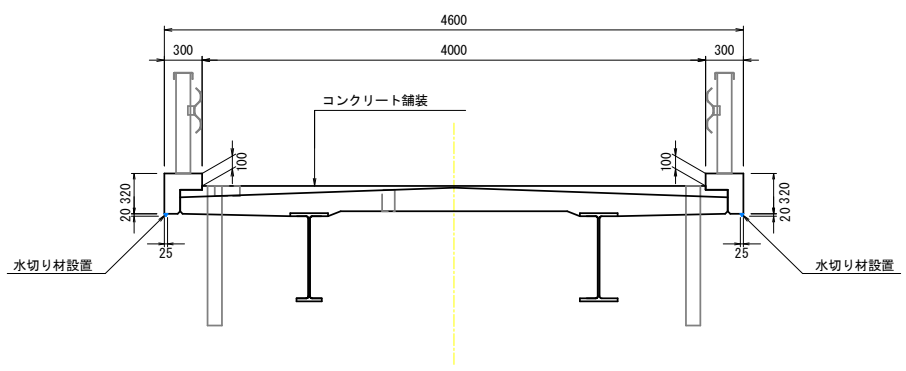
水切り設置工図

S=1:100

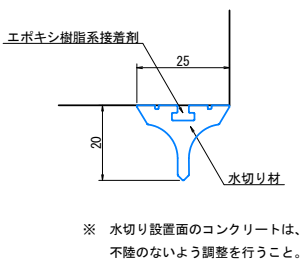
平面図（桁下）



標準断面図 S=1:30



水切り材 断面図 S=1:1



- ※ 施工手順
- 1 下地処理
 - 2 接着剤塗布
 - 3 水切り設置
 - 4 施工完了

水切り材 数量

工 種	数 量
(A1～P1) 上流側	17.24 m
(A1～P1) 下流側	17.24 m
(P1～P2) 上流側	17.34 m
(P1～P2) 下流側	17.34 m
(P2～A2) 上流側	17.35 m
(P2～A2) 下流側	17.35 m
合 計	103.86 m

※A1→A3に50%縮小印刷



- 【留意事項】
- 1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	水切り設置工図		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	20 / 20
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0001

ひび割れ補修工（低圧注入工法）
補修延べ延長26m

V0001

单第0 -0001 表

1 構造物 当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長26m

S1020037

単第0 -0002 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.508	人			
特殊作業員	2.496	人			
普通作業員	1.846	人			
ひび割れ注入材 エポキシ樹脂系1種、3種 ボンドE2601、ボンドE2420相当品	0.760	kg			※労務費算出用
シール材 ボンドE380相当品	3.446	kg			※労務費算出用
注入器具 低圧注入器相当品	110.000	個			※労務費算出用
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=26 C=0.76 E=2.515 G=110	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=1 D=2 F=3	【F】 注入材(kg) 【F】 シール材(kg) 【F】 低圧注入器具(個)	

施工単価表

頁0 -0004

断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積2.39m3

單第0 -0004 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	54.970	人			
特殊作業員	90.820	人			
普通作業員	59.750	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用（コテ塗り）	2.820	m3			
諸雑費	11	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=2.39 C=2.39	1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) 断面修復材の設計数量(m3/構造物)		B=10	【F】断面修復材(m3)	

施工単価表

頁0 -0005

殻運搬
Co(無筋)構造物とりこわし
機械構成比: 41.69% 労務構成比: 43.88% 材料構成比: 14.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離18.5km以下(14.4km超)

単第0 -0005 表
1
標準単価: 2,757.10000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	41.69%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=56 運搬距離18.5km以下(14.4km超)		

施工単価表

頁0 -0006

土砂等運搬

現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 18.57%

SPK24040002

DID区間有り 距離23.0km以下(14.5km超)

労務構成比: 72.35%

材料構成比: 9.08%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0006 表

1

標準単価:

m3 当り

9,289.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 F=53 現場制約あり 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 距離23.0km以下(14.5km超)			B=7 D=2 人力 DID区間有り		

施工単価表

頁0 -0007

**塗替塗装
清掃・水洗い**

SDT00029

單第0 -0007 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

塗替塗裝 素地調整

SDT00029

單第0 -0008 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

塗替塗装		SDT00029		単第0 -0009 表		1		m2		当り	
下塗り塗装		防食下地									
名称・規格など		数量	単位	単価	金額	備考					
昼間_塗替塗装【材工共】											
下塗り_有機ジングリッチペイント(2回/層)		1.000	m2								
はけ・ローラー,時間的制約なし											
諸雑費		1	式								
*** 単位当たり ***		1	m2								
A=1	昼間施工			B=4	下塗り塗装						
D=5	有機ジンクリッチペイント(2回塗り/層)			H=1	-						
I=1	時間的制約なし										

施工単価表

頁0 -0010

塗替塗装
下塗り塗装

SDT00029

單第0 -0010 表

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

單第0 -0011 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

塗替塗装
上塗り塗装

SDT00029

單第0 -0012 表

m2

当り

[illegible]

施工単価表

表面含浸工		V0002	単第0 -0013 表		
含浸材塗布 けい酸塩系表面保護材（スーパ 高所作業車無 1橋当り100m2以上				300	m2 当り
名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3	人			
特殊作業員	4	人			
普通作業員	5	人			
けい酸塩系表面保護材 スーパーシールド相当品	86.3	L			
塗布量確認材 スーパーシールド専用塗布量確認材相当品	3	セット			
機械経費 薬剤噴射器、給水タンク、発電機（2kVA）	1	式			
諸雑費	10	%			#01 労務費×10%
*** 合計 ***	300	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

反応促進工		V0003		単第0 -0014 表	
反応促進剤塗布		ストレングス剤（カルシウ		高所作業車無 1橋当り100m2以上	
名称・規格など		数量	単位	単価	金額
土木一般世話役		2	人		
特殊作業員		4	人		
普通作業員		3.5	人		
ストレングス剤 カルシウム付加・反応促進剤		86.3	L		
機械経費 薬剤噴射機、発電機（2kVA）		1	式		
諸雑費		10	%		#01 労務費×10%
*** 合計 ***		300	m2		
*** 単位当たり ***		1	m2		

施工単価表

アンカー設置工

V0007

単第0 -0015 表

頁0 -0015

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.5	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	1.0	人			
プレート 25t×80×120(SS400) 孔加工含む 溶融亜鉛メッキ仕様	1	枚			
アンカーボルト D32(M30)×470(SD345) 溶融亜鉛メッキ仕様	1	組			
注入材 エポキシ樹脂 カートリッジタイプ	0.5	kg			
ボルトキャップ 樹脂キャップM30用	1	個			
速硬性無収縮モルタル 25kg/袋-1袋	25.00	kg			
諸雑費	18	%			#09 労務費×18%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0016

高力ボルト本締工 極小規模

V0008

單第0 -0016 表

2

本 当り

[illegible]

施工単価表

耐摩耗型複合薄層遮水性舗装
スーパーロメンパッチDN工法相当

V0005
1橋当り70m2以上

単第0 -0017 表

208

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.55	人			
特殊作業員	5.10	人			
普通作業員	7.66	人			
特殊乳剤・骨材 スーパーロメンパッチ	554.66	組			
アクリル系浸透系防水材 HQPプライマー	87.36	kg			
珪砂 5号珪砂	174.72	kg			
諸雑費(発電機、ハンドミキサー、端部保護	7	%			#01 材料費×7%
*** 合計 ***	208	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0018

舗装版切断

SPK24040306

単第0 -0018 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

労務構成比:

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0019

鋪裝版切断

SPK24040306

單第0 -0018 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.42%

勞務構成比：

57.13%

材料構成比: 27.45%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

673.26000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

舗装版破碎

SPK24040305

単第0 -0019 表

アスファルト舗装版

障害等無し 舗装版厚15cm以下

1

m2 当り

機械構成比: 13.49%

労務構成比:

80.49%

材料構成比: 6.02%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

207.06000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	13.49%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.45m3(平積0.35m3)		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	28.91%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	23.89%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.02%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0021

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 44.95%

SPK24040151
DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)
労務構成比: 38.97%

単第0 -0020 表
材料構成比: 16.08%

1
標準単価: 4,707.60000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	44.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	38.97%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=3 機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm以下) D=57 運搬距離19.5km以下(10.5km超)		

施工単価表

頁0 -0022

表層(車道・路肩部)

SPK24040241

単第0 -0021 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.43% 労務構成比:

42.30%

材料構成比: 57.27%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,852.90000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.24%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg	0.13%		振動コンパクト 前進型 運転質量40～60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.71%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	13.40%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.05%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	52.51%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.54%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0023

表層(車道・路肩部)
平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)
機械構成比: 0.43% 労務構成比: 42.30% 材料構成比: 57.27% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040241
1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0021 表

1
標準単価:

m2 当り
2,852.90000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油		0.16%		ガソリンレギュラースタンド			TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.03%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=1 C=6 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)			B=50 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

伸縮装置撤去工
鋼製伸縮装置

V0009

単第0 -0022 表

7.2 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	3.0	人			
コンクリートカッター 手動式ブレード 径30センチ	0.2	台			
空気圧縮機 可搬式 5.0m3/min	2.0	台			
コンクリートブレーカー 30kg級	6.0	台			
ガス切断機 酸素アセチレンガス	2.0	台			
ハンドハンマー 15kg級	4.0	台			
ダンプトラック 2t積	1.0	台			
トラッククレーン 3.5t積トラック	1.0	台			
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	18.2	L			
軽油 スタンド渡し,スタンド給油	65.4	L			

施工単価表

頁0 -0025

伸縮装置撤去工 鋼製伸縮装置

V0009

單第0 -0022 表

7.2

m

当り

[illegible]

施工単価表

伸縮装置設置工
簡易補修 ゴム劣化取替工法（SMジョイント 1橋当り20m未満

V0010

単第0 -0023 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.0	人			
普通作業員	8.0	人			
特殊弾性樹脂材 SMジョイント（SMシール材）相当品 4.0L/缶セット	3.0	缶セット			
プライマー 専用プライマー 100ml/缶	2.0	缶			
バックアップ材	16.0	m			
諸雑費	6	%			#09 機械損料、労務費計の6%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

伸縮装置工（地覆部）
簡易補修 ゴム化アスファルト系目地材相当 1橋当り10m未満

V0011

単第0 -0024 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	2.0	人			
目地材 AOIシリコンシーラント02LN相当品 4L/セット 幅20×深さ40：5m/セット	1.0	セット			
プライマーC 300ml/缶	1.0	缶			
バックアップ材 Φ25	3.15	m			
諸雑費	15	%			#09 労務費計の15%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0028

防護柵設置工(Gr) レール撤去
路側用_A・B・C種(旧_Ap・Bp・Cp種)

SS000129

單第0 -0025 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

**防護柵設置工(Gr) レール設置
路側用_A・B・C種 手間のみ**

SS000125

單第0 -0026 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

防護柵取替工
笠木撤去・設置

V0012
施工延長50m以上

単第0 -0027 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	2.0	人			
笠木 4m笠木	18.00	枚			
笠木 2m笠木	6.00	枚			
笠木 1.4m笠木	8.00	枚			
笠木 1.35m笠木	4.00	枚			
袖笠木	12.00	枚			
小ボルトナット M16×35	120.00	個			
諸雑費	10	%			#09 労務費計の10%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

防護柵取替工
ガードレール支柱撤去・設置

V0013
ベースプレート式

単第0 -0028 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	3.0	人			
普通作業員	2.0	人			
ガードレール支柱 Gr-C-2B-4L-BPL(トク) 支柱H800 4.5×114.3×800	2	本			
アンカー 樹脂アンカー R-22SN M22×230	8	組			
寸切りボルト M22 L=230	8	組			
諸雑費	20	%			#09 労務費計の20%
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0032

防護柵取替工

V0014

單第0 -0029 表

ガードレール袖ビーム（ゴム製）

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0033

素地調整

SPK24040311

單第0 -0030 表

1

m2 当り

防護柵類

機械構成比: 0.00%

勞務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

1,289.60000

[illegible]

施工単価表

付属構造物塗替

SPK24040312

単第0 -0031 表

1

2

当り

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

標準単価：

1,129.20000

機械構成比：0.00%

労務構成比：93.31%

材料構成比：6.69%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	91.49%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	6.69%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=9 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK24040312

単第0 -0032 表

1

2

当り

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

標準単価：

1,129.70000

機械構成比：0.00%

労務構成比：93.27%

材料構成比：6.73%

市場単価構成比：0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	91.45%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	6.73%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=23 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

頁0 -0036

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付BT2t級2.9t吊
機械構成比: 13.58% 労務構成比: 83.54% 材料構成比: 2.88% 市場単価構成比: 0.00%

SPK24040410
片道運搬距離8.5km以下(6.0km超)

単第0 -0033 表
標準単価: 1 t 当り
3,972.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 ベーストラック2t積吊能力2.9t	13.58%		トラック クレーン装置付 ベーストラック2t級吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=8 クレーン装置付BT2t級2.9t吊 片道運搬距離8.5km以下(6.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0037

水切り工 橋梁床版用後付け型水切り

V0006

單第0 -0034 表

1橋当り20m以上

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

足場工
上部工部

V0015

単第0 -0035 表

1

式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
吊足場 タイプH 桁下1.5m未満	1	式			
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	290	m2			単第0-0036 表
防護工（床版補強工） 板張防護工 両側朝顔	290	m2			単第0-0037 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	290	m2			単第0-0038 表
床面シート張防護工	1	式			
湿式塗膜剥離剤工用養生シート	1	式			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0039

足場工（朝顔）（床版補強工）

S3030013

單第0 -0036 表

兩側朝顔

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0037 表

板張防護工

両側朝顔

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0038 表

シート張防護工

兩側朝顔

1

m2

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

**足場工
橋脚部**

V0016

單第0 -0039 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場
単管足場

S0380

単第0 -0040 表

100

掛m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
とび工	6.900	人			
普通作業員	1.800	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1〜3,2011,2014	0.800	日			
諸雑費	29	%			#09
*** 合計 ***	100	掛m2			
*** 単位当たり ***	1	掛m2			
A=2 単管足場 C=0 潮待割増			B=1 安全ネットを設置しない		

数 量 総 括 表

工 種 / 種 別 / 規 格				単位	数 量		摘 要
					計 算	計 上	
橋梁保全工事							
橋梁補修工							
ひびわれ補修工							
低圧注入工法							
		ひび割れ補修工（低圧注入工法）	補修延べ延長26m	構造物	1.0	1	
充てん工法							
		ひび割れ補修工（充てん工法）	補修延べ延長20m未満	構造物	1.0	1	
断面修復工							
左官工法							
		断面修復工（左官工法）	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む 修復延べ体積2.390m3	構造物	1.0	1	
		殻運搬	Co（無筋）構造物とりこわし DID区間有 運搬距離18.5km以下	m3	2.4	2	
		コンクリート塊受入費	再生工場搬入	t	5.6	6	殻運搬×2.35
塗替塗装工							
塗膜除去工							
		塗膜除去工	塗膜剥離剤 MT-BERON工法相当 1回塗り	m2	264.4	260	
		塗膜剥離剤	MT-BERON57相当品	kg	141.4	141	
		塗膜除去工	廃材の回収・積込	m2	264.4	260	
		ペール缶	天蓋取り外し式ハンドタイプ フタ・バンド付 20L	個	50.0	50	
殻運搬							
		土砂等運搬	現場制約あり DID区間有 距離23.0km以下（14.5km超）	m3	0.19	0.2	
殻処分							
		廃塗膜処分費（汚泥）		m3	0.19	0.2	
素地調整							
		塗替塗装	清掃・水洗い	m2	264.4	260	
		塗替塗装	素地調整	m2	264.4	260	
下塗							
		塗替塗装	下塗り塗装 防食下地	m2	264.4	260	
		塗替塗装	下塗り塗装	m2	264.4	260	
中塗							
		塗替塗装	中塗り塗装	m2	264.4	260	
上塗							
		塗替塗装	上塗り塗装	m2	264.4	260	
表面含浸工							
表面含浸工							
		表面含浸工	下地処理（洗浄・清掃）	m2	404.6	405	
		表面含浸工	含浸材塗布 けい酸塩系表面保護材	m2	404.6	405	
		反応促進工	反応促進剤塗布 ストレングス剤	m2	404.6	405	
アンカー設置工・高力ボルト取付工							
支承補修工							
		アンカー設置工		式	1	1	
高力ボルト取付工							
		高力ボルト本締工	(M20×60) F10T	本	2	2.0	

数 量 総 括 表

工 種 / 種 別 / 規 格				単位	数 量		摘 要
					計 算	計 上	
			橋面補修工				
			薄層舗装工				
			耐摩耗型複合薄層遮水性舗装	スーパーロメンパッチDN工法相当 1橋当り70m2以上	m2	207.7	208
			舗装版切断				
			舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版15cm以下	m	7.0	7
			舗装版破砕				
			舗装版破砕	アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	m2	5.6	6
			殻運搬				
			殻運搬	舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離19.5km以下 (10.5km超)	m3	0.28	0.3
			殻処分				
			アスファルト殻受入費	再生工場搬入	t	0.66	0.7 殻運搬×2.35
			表層				
			表層 (車道・路肩部)	平均幅員1.4m未満 (1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚50mm	m2	5.6	6
			伸縮装置取替工				
			伸縮装置撤去工	鋼製伸縮装置	m	16.0	16
			伸縮装置設置工	簡易補修ゴム劣化取替工法 (SMジョイント) 1橋当り20m未満	式	1.0	1
			伸縮装置工 (地覆部)	簡易補修ゴム化アスファルト系目地材相当品 1橋当り10m未満	式	1.0	1
			防護柵工				
			防護柵補修工				
			防護柵設置工 (Gr) レール撤去	路側用_A・B・C種 (旧_Ap・Bp・Cp種)	m	97.4	97
			防護柵設置工 (Gr) レール設置	路側用_A・B・C種 手間のみ	m	97.4	97
			標準型ガードレール部材 (直ビーム)	C (2.3×350×4330) 塗装 (白色)	枚	17	17
			標準型ガードレール部材 (直ビーム)	C (2.3×350×2330) 塗装 (白色)	枚	17	17
			防護柵取替工	笠木撤去・設置 施工延長50m以上	式	1	1
			防護柵取替工	ガードレール支柱撤去・設置 ベースプレート式	式	1	1
			防護柵取替工	ガードレール袖ビーム (ゴム製)	式	1	1
			索地調整 (防護柵)				
			索地調整	防護柵類	m2	16.3	20
			中塗 (防護柵)				
			付属構造物塗替	長油性フタル酸樹脂塗料中塗白色 防護柵類・落石防止柵類	m2	16.3	20
			上塗 (防護柵)				
			付属構造物塗替	長油性フタル酸樹脂塗料上塗白色 防護柵類・落石防止柵類	m2	16.3	20
			現場発生品及び支給品運搬				
			現場発生品及び支給品運搬		t	1.4	1.4
			スクラップ		t	1.4	1.4
			排水施設工				
			水切り工				
			水切り工	橋梁床版用後付け型水切り 1橋当り20m以上	m	103.9	104
			仮設工				
			ばく露防止対策工				
			防護服等				
			使い捨て化学防護服	化学防護服マイクロガード 2500PLUS XLサイズ ニトリル 37-176	着	80.0	80
			化学防護手袋	Lサイズ 17092	双	80.0	80
			シューズカバー	SC200L ロングタイプ フリーサイズ	足	80.0	80

数 量 総 括 表

工 種 / 種 別 / 規 格					単位	数 量		摘 要
						計 算	計 上	
		足場工						
			足場					
			足場工	上部工部	式	1.0	1	
			足場工	橋脚部	式	1.0	1	
	安全費							
	安全費							
			安全費					
			全面マスク	電動ファン付呼吸用保護具	台	5.0	5	
			呼吸用防護フィルター	全面マスクフィルター V3	個	80.0	80	

1. ひびわれ補修工

1-2. 上部工・下部工（補修図参照）

1-2-1. ひびわれ注入工（上部工）

注 入 材 料：エポキシ樹脂3種
適 用 範 囲：0.2 ～1.0mm未満のひびわれ、コールドジョイントに適用
注 入 深 さ：0.05 mとする。
注 入 材：ひびわれ延長 × 平均幅 × 注入深さ × $\frac{1150}{\text{単位重量 (kg/m3)}}$: ボンドE2420
シ ー ル 材：ひびわれ延長 × $\frac{0.002 \times 0.03 \times 1600}{\text{シール材(厚みm} \times \text{幅m)}}$ × $\frac{1600}{\text{単位重量 (kg/m3)}}$: ボンドE380
注 入 器 具：250 mmピッチとする。
ロ ス 率：注入材＝ 40 %、シール材＝ 37 %

部 位	ひびわれ延長 (m)	平均幅 (m)	注入材 (kg)	シール材 (kg)	低圧注入器具 (個)
地覆	2.500	0.00032	0.046	0.240	11
合 計	2.500	—	0.046	0.240	11
ロス率考慮＝			0.064	0.329	

1-2-2. ひびわれ注入工（下部工）

注 入 材 料：エポキシ樹脂1種
適 用 範 囲：0.2 ～1.0mm未満のひびわれに適用
注 入 深 さ：0.05 mとする。
注 入 材：ひびわれ延長 × 平均幅 × 注入深さ × $\frac{1150}{\text{単位重量 (kg/m3)}}$: ボンドE2601
シ ー ル 材：ひびわれ延長 × $\frac{0.002 \times 0.03 \times 1600}{\text{シール材(厚みm} \times \text{幅m)}}$ × $\frac{1600}{\text{単位重量 (kg/m3)}}$: ボンドE380
注 入 器 具：250 mmピッチとする。
ロ ス 率：注入材＝ 40 %、シール材＝ 37 %

部 位	ひびわれ延長 (m)	平均幅 (m)	注入材 (kg)	シール材 (kg)	低圧注入器具 (個)
A1橋台	0.300	0.00030	0.005	0.029	3
A2橋台	1.750	0.00031	0.031	0.168	8
P2橋脚	21.650	0.00037	0.461	2.078	88
合 計	23.700	—	0.497	2.275	99
ロス率考慮＝			0.696	3.117	

1-2-3. ひびわれ充填工（上部工・下部工）

充 填 材 料：シーラント系
適 用 範 囲：1mm以上のひびわれ、遊離石灰に適用
充 填 材 料：ひびわれ延長 × $\frac{0.01 \times 0.015 \times 1040}{\text{充填材断面積(m)}}$ × $\frac{1040}{\text{単位重量}}$: シーラント45N
ロ ス 率：充填材＝ 20 %

部 位	ひびわれ延長 (m)	充填材 (kg)
地覆	2.600	0.406
P2橋脚	7.750	1.209
合 計	10.350	1.615
ロス率考慮＝		1.938

$$V = 10.350 \times 0.010 \times 0.015 \times 1040 \times \frac{1.2}{\text{ロス率}} = 1.938 \quad \text{リットル}$$

2. 断面修復工

2-1. 上部工・下部工（補修図 参照）

2-1-1. 地覆・床版・橋脚部

工 法：左官工法
修 復 材 料：ポリマーセメントモルタル
修 復 深 さ：50 mmとする。
ロ ス 率：充填材＝ 18 %

部 位	寸法 (m2)	修復深さ (m)	修復量 (m3)
地覆	0.440	0.050	0.022
中間床版	4.323	0.050	0.216
張出床版	36.139	0.050	1.807
P1橋脚	0.045	0.050	0.002
合 計	40.947	—	2.047
ロス率考慮＝			2.415

2-1-2. 地覆(Ta1・Ka1・Ka2)部

工 法：左官工法
修 復 材 料：ポリマーセメントモルタル
修 復 深 さ：100 mmとする。
ロ ス 率：充填材＝ 18 %

部 位	寸法 (m2)	修復深さ (m)	修復量 (m3)
地覆 (Ta1・Ka1・Ka2)	0.310	0.100	0.031
合 計	0.310	—	0.031
ロス率考慮＝			0.037

2-1-3. 橋面部

工 法：左官工法
修 復 材 料：ポリマーセメントモルタル
修 復 深 さ：20 mmとする。
ロ ス 率：充填材＝ 18 %

部 位	寸法 (m2)	修復深さ (m)	修復量 (m3)
橋面	15.600	0.020	0.312
合 計	15.600	—	0.312
ロス率考慮＝			0.368

2-1-4. 殻運搬

$$V = 2.047 + 0.031 + 0.312 + 0.001 = 2.391 \text{ m}^3$$

(5-1-8アンカー設置工より)

2-1-5. 殻処理

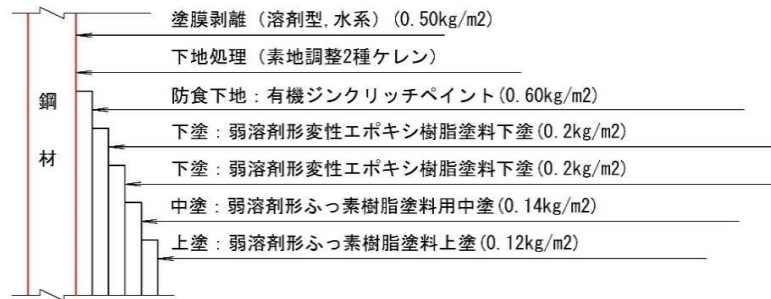
$$W = 2.391 \times 2.35 = 5.619 \text{ t}$$

3. 塗替塗装工 (塗装塗替工図 参照)

3-1. 塗替塗装工 : Rc-Ⅱ 塗装系

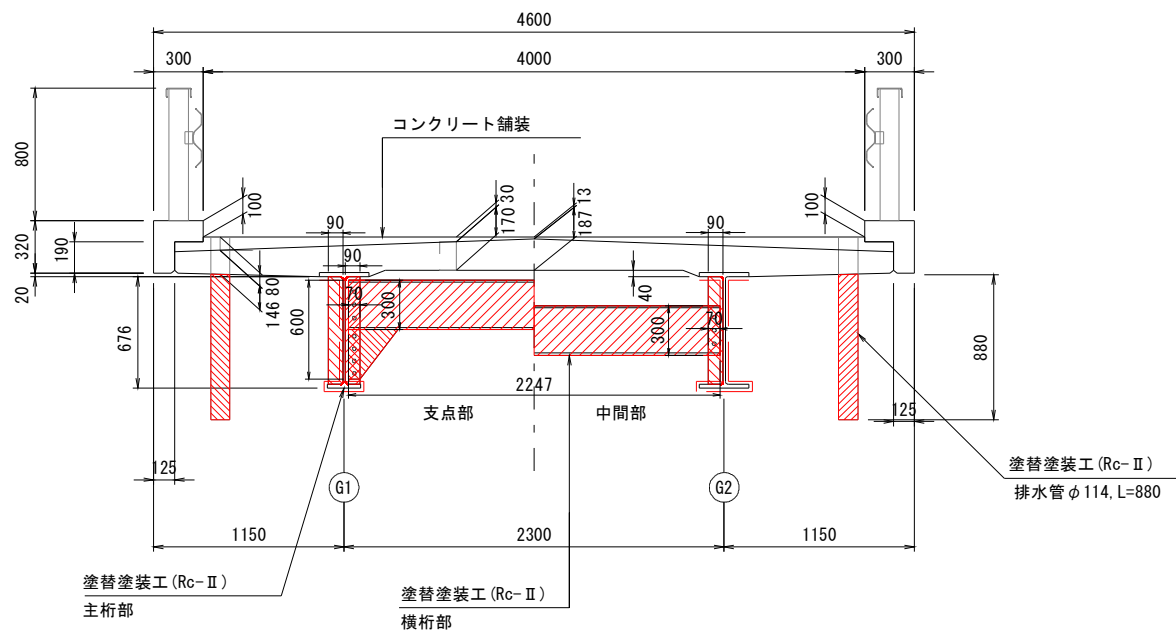
1) 塗装仕様

Rc-Ⅱ 塗装系

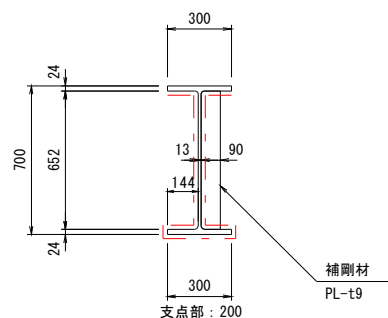


2) 形状寸法

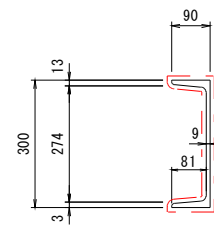
標準断面図 S=1:30



主桁断面図 S=1:20



横桁断面図 S=1:10



A1~P1 17. 24m×2本
P1~P2 17. 34m×2本
P2~A2 17. 35m×2本

A1~A2 2. 247m×12本

3) 塗膜剥離・塗装塗替面積

主桁（第一径間）

・周長

$$11 = 0.652 \times 2 + 0.144 \times 4 + 0.024 \times 2 + 0.300 = 2.228 \text{ m}$$

$$a1 = 17.240 \times 2.228 \times 2 = 76.821 \text{ m}^2$$

主桁（第二径間）

・周長

$$12 = 0.652 \times 2 + 0.144 \times 4 + 0.024 \times 2 + 0.300 = 2.228 \text{ m}$$

$$a2 = 17.340 \times 2.228 \times 2 = 77.267 \text{ m}^2$$

主桁（第三径間）

・周長

$$13 = 0.652 \times 2 + 0.144 \times 4 + 0.024 \times 2 + 0.300 = 2.228 \text{ m}$$

$$a3 = 17.350 \times 2.228 \times 2 = 77.312 \text{ m}^2$$

・補剛材（端支点部）（全径間）

$$a4 = 0.090 \times 0.652 \times \frac{4}{\text{A1部/枚}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/本}} \times \frac{2}{\text{両面}} = 2.817 \text{ m}^2$$

・補剛材（横桁部）（全径間）

$$a5 = 0.090 \times 0.652 \times \frac{2}{\text{1列/枚}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} \times \frac{2}{\text{両面}} = 1.408 \text{ m}^2$$

・主桁部控除（下フランジハッチ部）（全径間）

$$a6 = \frac{0.120}{\text{箇所/m}^2} \times \frac{2}{\text{A1部/箇所}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} = -1.440 \text{ m}^2$$

・横桁部控除（補剛材と端支点横桁の接続部）（全径間）

$$a7 = 0.070 \times 0.600 \times \frac{2}{\text{A1部/箇所}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} = -0.504 \text{ m}^2$$

・横桁部控除（補剛材と中間横桁の接続部）（全径間）

$$a8 = 0.070 \times 0.300 \times \frac{2}{\text{1列/箇所}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} = -0.252 \text{ m}^2$$

・支承部控除（主桁との接地面）（全径間）

$$a9 = 0.200 \times 0.250 \times 12 = -0.600 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 232.829 \text{ m}^2$$

横桁

- ・ 周長（端支点横桁・中間横桁）

$$13 = 0.090 \times 2 + 0.081 \times 2 + 0.300 + 0.274 + 0.0130 \times 2 = 0.942 \text{ m}$$

- ・ 端支点横桁（全径間）

$$a10 = 2.247 \times 0.942 \times \frac{1}{\text{A1部/本}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} = 12.700 \text{ m}^2$$

- ・ 中間横桁（全径間）

$$a11 = 2.247 \times 0.942 \times \frac{2}{\text{径間/本}} \times \frac{3}{\text{径間}} = 12.700 \text{ m}^2$$

- ・ 端支点横桁取合いPL（全径間）

$$a12 = \frac{0.0555}{\text{箇所/m}^2} \times \frac{2}{\text{A1部/箇所}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} \times \frac{2}{\text{両面}} = 1.332 \text{ m}^2$$

- ・ 補剛材部控除（端支点と補剛材の接続部）（全径間）

$$a13 = - 0.070 \times 0.600 \times \frac{2}{\text{A1部/箇所}} \times \frac{6}{\text{A1} \sim \text{A2/箇所}} = -0.504 \text{ m}^2$$

- ・ 補剛材部控除（中間横桁と補剛材の接続部）（第一径間，第二径間）

$$a14 = - 0.070 \times 0.300 \times \frac{4}{\text{径間/箇所}} \times \frac{3}{\text{径間}} = -0.252 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A2 = 25.976 \text{ m}^2$$

排水管

$$a15 = 0.114 \times \pi \times 0.880 \times 12 = 3.782 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A3 = 3.782 \text{ m}^2$$

支承

- ・ Mov（全径間）

$$a16 = \frac{0.145}{\text{支承1基/m}^2} \times 6 = 0.870 \text{ m}^2$$

- ・ Fix（全径間）

$$a17 = \frac{0.151}{\text{支承1基/m}^2} \times 6 = 0.906 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A4 = 1.776 \text{ m}^2$$

4）合計

$$A = \frac{232.829}{\text{主桁}} + \frac{25.976}{\text{横桁}} + \frac{3.782}{\text{排水管}} + \frac{1.776}{\text{支承}} = 264.363 \text{ m}^2$$

5) 塗膜除去 (塗膜剝離剤 MT-BERON57相当品)

$$W = \frac{264.363}{\text{m}^2} \times 0.5 \times 1.07 = 141.434 \text{ kg}$$

(標準使用量kg/m²)

6) 産業廃棄物 (塗膜くず) (1.0kg/m²を想定)

$$W = \frac{264.363}{\text{m}^2} \times 1.0 = 264.363 \text{ kg}$$

kg/m²

7) 保護器具

全面マスク	N =	5	台
呼吸用保護フィルター	N =	80	個
使い捨て化学防護服	N =	80	着
化学防護手袋	N =	80	双
シューズカバー	N =	80	足
ペール缶	N =	50	個 (想定)

8) 産業廃棄物 (重量換算) 重量換算係数1.4 (t/m³)

$$W = 264.363 \text{ kg} \quad 0.26 \text{ t}$$

$$V = 0.26 \text{ t} \div 1.4 \text{ t/m}^3 = 0.19 \text{ m}^3$$

4. 表面含浸工 (表面含浸工図 参照)

4-1. 表面含浸工 : けい酸塩系含浸材

床版 (地覆含む)

$$A = ((1.800 + 0.108 \times 2) + (1.000 + 0.320 + 0.300 + 0.100) \times 2) \times (\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.350}{\text{第3径間}}) = 283.330 \text{ m}^2$$

橋脚 (P1)

・周長

$$11 \text{ (A-A断面)} = (3.500 \times 2 + 1.571 \times 2) = 10.142 \text{ m}$$

$$12 \text{ (B-B断面)} = (3.500 \times 2 + 1.571 \times 2) = 10.142 \text{ m}$$

$$13 \text{ (C-C断面)} = (3.500 \times 2 + 1.414 \times 2) = 9.828 \text{ m}$$

$$14 \text{ (D-D断面)} = (3.500 \times 2 + 2.050 \times 2) = 11.100 \text{ m}$$

・A-A断面 (座面)

$$a3 = 4.000 \text{ m}^2$$

・A-A～B-B 断面間

$$a4 = (10.142 + 10.142) \div 2 \times 0.600 = 6.085 \text{ m}^2$$

・B-B～C-C 断面間

$$a5 = (10.142 + 9.828) \div 2 \times 0.050 = 0.499 \text{ m}^2$$

・C-C～D-D 断面間

$$a6 = (9.828 + 11.100) \div 2 \times 4.050 = 42.379 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A1 = 52.963 \text{ m}^2$$

橋脚合計 (P1・P2) ※P2も同形状

$$52.963 \text{ m}^2 \times 2 = 105.926 \text{ m}^2$$

橋台

・A1橋台

$$a7 = \frac{2.157}{\text{座面}} + \frac{4.911}{\text{正面}} + (\frac{0.308}{\text{側面}} \times 2) = 7.684 \text{ m}^2$$

・A2橋台

$$a8 = \frac{2.157}{\text{座面}} + \frac{4.911}{\text{正面}} + (\frac{0.284}{\text{側面}} \times 2) = 7.636 \text{ m}^2$$

1) 合計

$$\Sigma A = \frac{283.330}{\text{床版(地覆含)}} + \frac{105.926}{\text{橋脚}} + \frac{7.684}{\text{A1橋台}} + \frac{7.636}{\text{A2橋台}} = 404.576 \text{ m}^2$$

含浸工使用量 (含浸材および促進剤)

$$V = 404.576 \times \frac{0.25}{\text{m}^2 \text{あたり} 0.25 \frac{\text{リットル}}{\text{m}^2}} \times \frac{1.15}{\text{ロス率}} = 116.316 \text{ リットル}$$

5. アンカー設置工・高力ボルト本締工

(アンカー・ボルト補修図 参照)

5-1. アンカー設置工

5-1.1 鋼材

(1) SS400 t=25mm

$$N = 1 = 1 \text{ 枚}$$

$$W = 0.080 \times 0.025 \times 0.120 \times 7850 \times 1 = 1.9 \text{ kg}$$

比重/kg

工場塗装 (C-5)

$$A = 0.080 \times 0.120 \times 2 = 0.019 \text{ m}^2$$

5-1.2 沓座モルタル (無収縮モルタル)

$$V = 0.100 \times 0.120 \times 0.094 \times 1 = 0.001 \text{ m}^3$$

$$W = \frac{1.000}{\text{リットル}} \times \frac{25.000}{25\text{kg-練り上がり}13.3\text{リットル}} = 1.880 \text{ kg}$$

5-1.3 型枠 (一般型枠 小型構造物)

$$a1 = (0.100 + 0.120) \times 2 \times 0.094 \times 1 = 0.041 \text{ m}^2$$

$$- a2 = 0.024 \times 0.120 = -0.003 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 0.038 \text{ m}^2$$

5-1.4 鉄筋探査工

(1) 下向き

$$A = 0.500 \times 0.500 \times 1 = 0.250 \text{ m}^2$$

5-1.5 コンクリートアンカー工

(1) コンクリート削孔工

$$N = 1 = 1 \text{ 孔}$$

(2) アンカー工

1) アンカー材 (D32×470)

$$N = 1 = 1 \text{ 本}$$

$$W = 0.470 \times 6.230 / 1,000 = 0.003 \text{ t}$$

2) ナット M30

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

3) ワッシャー M30

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

4) 充填材 (エポキシ樹脂注入)

$$V = (\pi/4 \times 0.042^2 \times 0.310 - \pi/4 \times 0.032^2 \times 0.300) \times 1 \times 1200 \text{ kg/m}^3 \times 1.20 = 0.271 \text{ kg}$$

ロス率20%

5-1.6 ボルトカバー設置 (M30)

$$N = 1 = 1 \text{ 個}$$

5-1.7 補修工事ガス切断切削仕上工 (M30)

$$L = 0.076 = 0.076 \text{ m}$$

5-1.8 殻運搬

(1) コンクリート構造物 人力積込

$$V = \pi/4 \times 0.042^2 \times 0.310 \times 1 = 0.001 \text{ m}^3$$

(※2-1-4. の殻運搬に計上)

5-2. 高力ボルト本締工

高力ボルト取付 (M20×60) F10T

$$N = 2 = 2 \text{ 本}$$

6. 橋面補修工 (橋面補修工図 参照)

6-1. 薄層舗装工 : 耐摩耗型複合薄層遮水性舗装

1) 橋面

$$A = \frac{68.96}{\text{第一径間}} + \frac{69.36}{\text{第二径間}} + \frac{69.40}{\text{第三径間}} = 207.72 \text{ m}^2$$

6-2. 舗装打替工 : 再生密粒度アスコン(20)

1) 舗装版切断工 (t=5cm想定)

$$L = \frac{0.424}{A1} + \frac{6.600}{A2} = 7.024 \text{ m}$$

2) 舗装版破碎工

・A1側

$$A = 0.300 \times 0.300 \div 2 = 0.045 \text{ m}^2$$

・A2側

$$A = \frac{4.600 \times 1.000 + ((1.000 \times 1.000 \div 2))}{2} = 5.600 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 5.645 \text{ m}^2$$

3) 搬運搬

$$V = \left(\frac{0.045}{A1} + \frac{5.600}{A2} \right) \times 0.050 = 0.282 \text{ m}^3$$

4) 搬処理

$$W = 0.282 \times 2.35 = 0.663 \text{ t}$$

5) 表層 (舗装版破碎工と同数量)

$$A = \frac{0.045}{A1} + \frac{5.600}{A2} = 5.645 \text{ m}^2$$

6-3. 伸縮装置取替工

1) 伸縮装置延長 (SMジョイント)

$$L = \left(\frac{4.000}{A1} + \frac{4.000}{P1} + \frac{4.000}{P2} + \frac{4.000}{A2} \right) = 16.000 \text{ m}$$

2) 地覆部目地補修延長 (ゴム化アスファルト系 高弾性)

$$L = \left(\frac{0.600}{A1} + \frac{0.870}{P1} + \frac{0.870}{P2} + \frac{0.600}{A2} \right) = 2.940 \text{ m}$$

・A1側

$$V = 0.600 \times 0.020 \times 0.040 \times 1000 = 0.480 \text{ リットル}$$

・P1側

$$V = 0.870 \times 0.020 \times 0.040 \times 1000 = 0.696 \text{ リットル}$$

・P2側

$$V = 0.870 \times 0.020 \times 0.040 \times 1000 = 0.696 \text{ リットル}$$

・A2側

$$V = 0.600 \times 0.010 \times 0.040 \times 1000 = 0.240 \text{ リットル}$$

$$\Sigma A = 2.112 \text{ リットル}$$

$$2.112 \text{ kg}$$

7. 防護柵工 (防護柵補修工図 参照)

7-1. 防護柵補修工

1) 既設防護柵撤去 (ビーム)

・撤去数量

$$L = \left(\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.340}{\text{第3径間}} \times \frac{2}{\text{上下流}} \right) - \frac{6.480}{\text{控除分}} = 97.360 \text{ m}$$

(2.00+2.00+1.40+0.27×4)

2) 既設防護柵撤去 (笠木)

・撤去数量

$$L = \left(\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.340}{\text{第3径間}} \times \frac{2}{\text{上下流}} \right) - \frac{1.670}{\text{控除分}} = 102.170 \text{ m}$$

(1.40+0.27)

3) 既設防護柵撤去 (支柱)

・撤去数量 (A1上流側・A1下流側)

$$N = = 2 \text{ 本}$$

4) 防護柵設置 (ビーム)

・防護柵設置

Gr-C-2B-4

$$L = \left(\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.340}{\text{第3径間}} \times \frac{2}{\text{上下流}} \right) - \frac{6.480}{\text{控除分}} = 97.360 \text{ m}$$

2+2+1.4+(0.27×4)

5) 防護柵設置 (笠木)

・防護柵設置

Gr-C-2B-4

$$L = \left(\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.340}{\text{第3径間}} \times \frac{2}{\text{上下流}} \right) - \frac{1.670}{\text{控除分}} = 102.170 \text{ m}$$

1.4+0.27

6) 防護柵設置 (袖ビーム)

・防護柵設置 (A1上流側・A1下流側・A2上流側)

ラバースリーブ (21GR0081_2つ孔)

$$N = = 3 \text{ 箇所}$$

7) 防護柵設置 (BPL付支柱 Gr-C-2B-4-BPL)

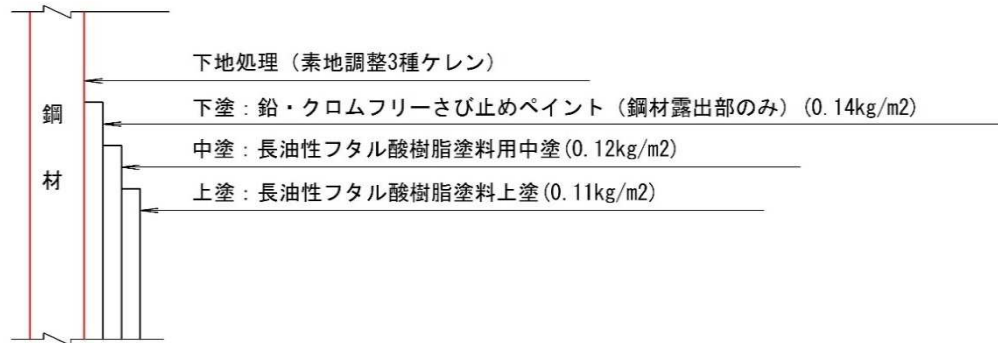
・防護柵設置 (A1上流側・A1下流側)

$$N = = 2 \text{ 本}$$

8) 支柱塗替え

8-1) 塗装仕様

Ra-Ⅲ 塗装系



8-2) 塗替塗装面積

支柱 (φ114)

$$a1 = 0.114 \times \pi \times 0.800 \times \left(\frac{30}{\text{本}} \times \frac{2}{\text{上流・下流}} - \frac{3}{\text{控除分}} \right) = 16.331 \text{ m}^2$$

8 排水施設工 (水切り設置工図 参照)

8-1. 水切り工

1) 水切り材設置 (W25×H20mm)

$$L = \left(\frac{17.240}{\text{第1径間}} + \frac{17.340}{\text{第2径間}} + \frac{17.350}{\text{第3径間}} \times \frac{2}{\text{上下流}} \right) = 103.860 \text{ m}$$

9. 仮設工 (足場参考図 参照)

9-1. 足場工

1) 吊り足場 (TYPE-H)

・ A1～P1間

$$a1 = 6.200 \times 15.110 = 93.682 \text{ m}^2$$

・ P1

$$a2 = (0.750 + 0.750) \times 1.200 = 1.800 \text{ m}^2$$

・ P1～P2間

$$a4 = 6.200 \times 16.160 = 100.192 \text{ m}^2$$

・ P2

$$a5 = (0.750 + 0.750) \times 1.200 = 1.800 \text{ m}^2$$

・ P2～A2間

$$a6 = 6.200 \times 15.400 = 95.480 \text{ m}^2$$

$$\Sigma A = 292.954 \text{ m}^2$$

2) 単管足場

・ 上流側 (P1・P2)

$$a1 = 4.364 \times 1.495 \times \frac{2}{P1 \cdot P2} = 13.048 \text{ 掛m}^2$$

・ A1側 (P1・P2)

$$a2 = 4.364 \times 4.995 \times \frac{2}{P1 \cdot P2} = 43.596 \text{ 掛m}^2$$

・ A2側 (P1・P2)

$$a3 = 4.364 \times 4.995 \times \frac{2}{P1 \cdot P2} = 43.596 \text{ 掛m}^2$$

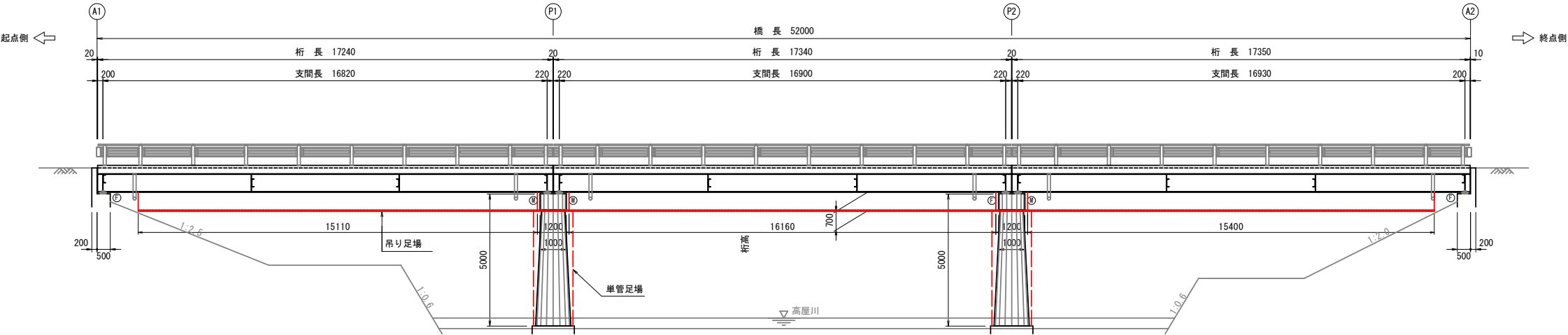
・ 下流側 (P1・P2)

$$a4 = 4.364 \times 1.495 \times \frac{2}{P1 \cdot P2} = 13.048 \text{ 掛m}^2$$

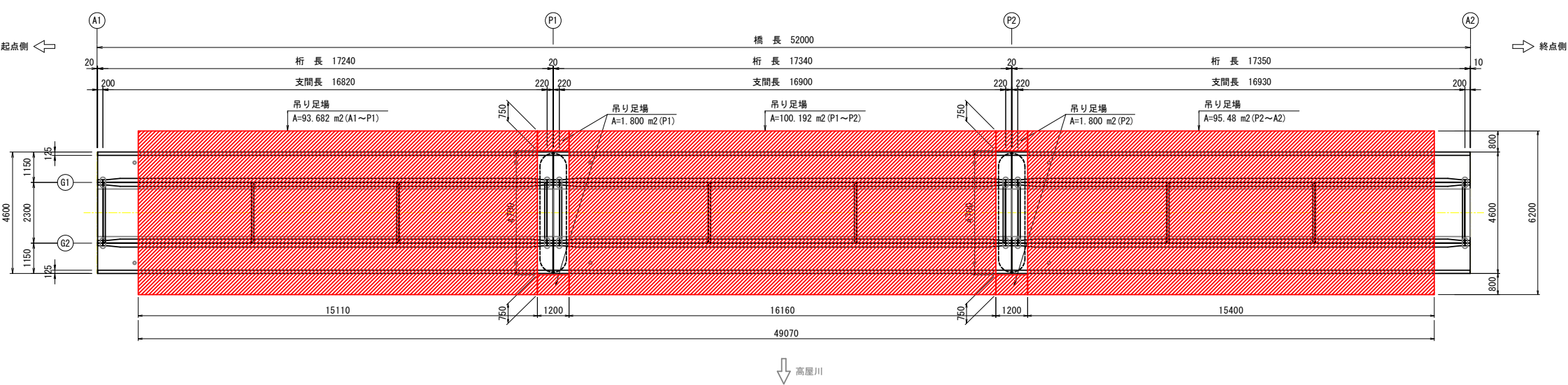
$$\Sigma A = 113.288 \text{ 掛m}^2$$

足場工（その1）
（参考図）

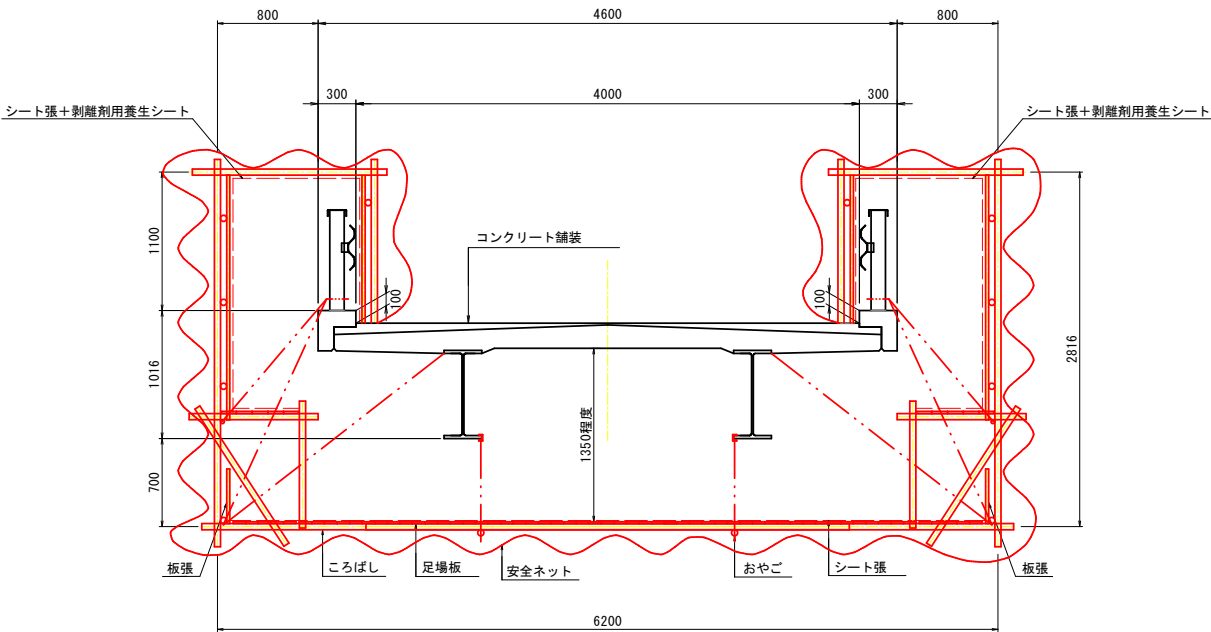
側面図 S=1:100



平面図（桁下） S=1:100



断面図 S=1:30



足場工数量

工 種	数 量
桁 下 (A1～P1)	93.682 m2
桁 下 (P1～P2)	100.192 m2
桁 下 (P2～A2)	95.480 m2
桁 下 (P1)	1.800 m2
桁 下 (P2)	1.800 m2
合 計	292.954 m2

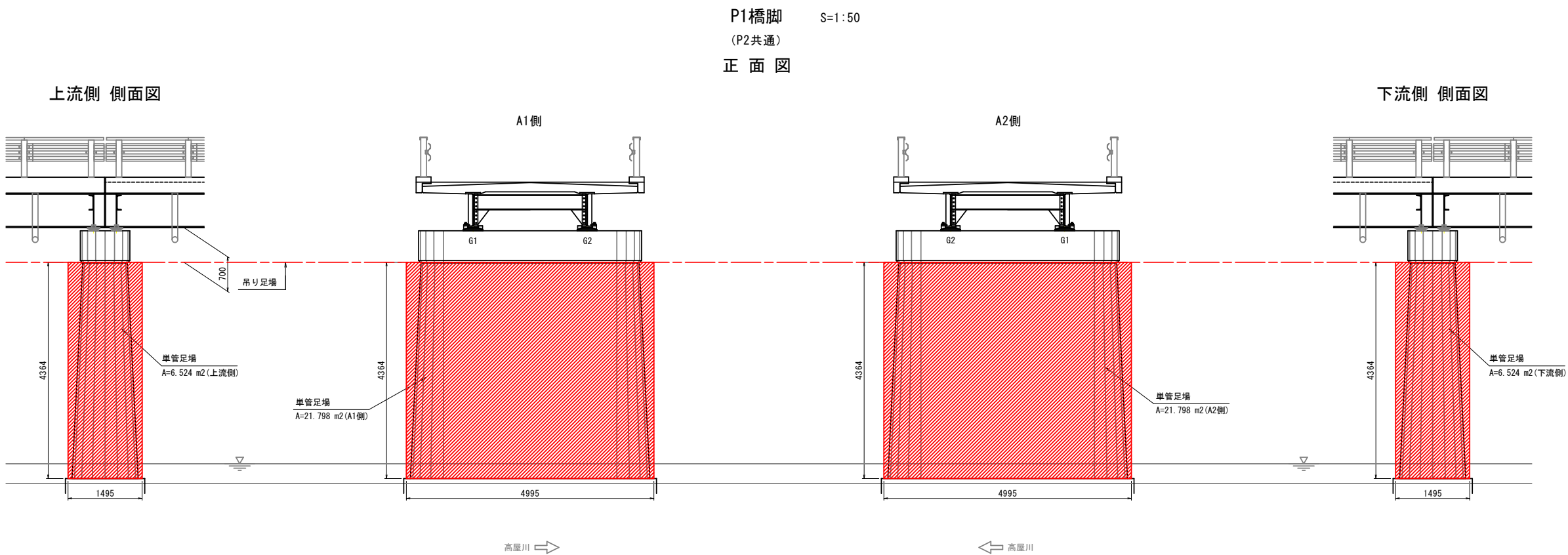
令和7年度
国
補

【留意事項】
1) 形状は既存資料および測量結果に基づく。
2) 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

※A1→A3に50%縮小印刷

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	足場工（その１）参考図		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	1 / 2
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		

足場工（その2）
（参考図）



足場工数量（単管足場）

工 種	数 量
上流側 (P1・P2)	6.524 m2 × 2 = 13.048 m2
A1側 (P1・P2)	21.798 m2 × 2 = 43.596 m2
A2側 (P1・P2)	21.798 m2 × 2 = 43.596 m2
下流側 (P1・P2)	6.524 m2 × 2 = 13.048 m2
合 計	113.288 掛m2

※A1→A3に50%縮小印刷

令和7年度
国
補

- 【留意事項】
- 形状は既存資料および測量結果に基づく。
 - 施工前には必ず現状寸法を再測し、施工寸法を確認すること。

工 事 名	橋梁修繕工事（栄橋）		
図 面 名	足場工（その2）参考図		
作成年月日	令和 7 年 6 月		
縮 尺	図 示	図面番号	2 / 2
会 社 名			
事業者名	福山市 神辺建設産業課		